

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（目次） 保健医療学部 保健医療学科

1. 本学科では、ディプロマ・ポリシーの他に、コースごとに教育目標を設定しているが、各コースの教育目標は、専門分野の名称を変えているだけで全て共通であり、その内容もディプロマ・ポリシーとほぼ同じ内容であることから、ディプロマ・ポリシーとは別にコースごとに教育目標を設定している意義が判然としない。本学科として、コースごとに教育目標を設定するのであれば、ディプロマ・ポリシーとそれぞれのコースで養成する人材像に求められる能力との整合性に留意した上で、コースの特色がわかる具体的な教育目標となるよう適切に改めること。

（是正事項）・・・3

2. 以下の点も踏まえ、本学科の教育課程が、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、修得すべき知識や能力等に係る教育が網羅され、体系性が担保された上で、適切に編成されていることを明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

（是正事項）・・・6

（1）「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」において「カリキュラム・ツリー」（資料14）が示されているが、3つのコースは教育課程に違いがある中でまとめて記載されているため、カリキュラム・ツリーとして示すべき授業科目の履修の順序性や授業科目の関係性が不明確である。

（2）本学の基本理念や学部の特色として「人間力教育」を掲げており、本学部において、「人間力教育」は重要な位置づけであると思料されるが、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーにおいて記載がなく、これを養成するカリキュラムが明らかでない。

3. 例えば、臨床医工学コースの基礎専門科目に「応用数学」が配置されているなど、それぞれのコースで科目を履修するに当たり、数学の基礎的学力が必要な場合があると考えられ、また、養成する人材像に照らしても数学の能力は必要であると考えられるが、入学者選抜において、必ずしも数学の学力試験を課していない。一方、「生物リテラシー」では高校で未履修の学生にも理解できるように配慮していると見受けられるため、これと同様に、数学の能力が不十分な学生を支援するためのリメディアル教育科目を配置するなどの対応をとることが望ましい。

（改善事項）・・・25

4. アドミッション・ポリシーにおいて、「特に数学、理科、国語、英語のいずれか、あるいは複数の教科・科目において、高い学習意欲をもち、基礎的知識を応用する力を有する人」としているものの、対象となる教科の範囲が広く、かつ、いずれの教科にも限定されていない

いように見受けられることから、本学科において必要となる基礎学力を有する学生を適切に選抜できるものとなっているかが判断できない。このため、養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、適切なアドミッション・ポリシーが設定され、当該アドミッション・ポリシーに基づき適切な入学者選抜が実施される計画であることを改めて具体的に説明すること。

(是正事項)・・・27

5. 専任教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性の観点から、若手教員の採用計画など教員組織の将来構想を明確にすること。

(改善事項)・・・37

6. 校地校舎等の図面について、学長室、医務室及び学生自習室が確認できる校舎の平面図が示されていないため、資料を提出すること。

(是正事項)・・・41

(是正事項) 保健医療学部 保健医療学科

1. 本学科では、ディプロマ・ポリシーの他に、コースごとに教育目標を設定しているが、各コースの教育目標は、専門分野の名称を変えているだけで全て共通であり、その内容もディプロマ・ポリシーとほぼ同じ内容であることから、ディプロマ・ポリシーとは別にコースごとに教育目標を設定している意義が判然としない。本学科として、コースごとに教育目標を設定するのであれば、ディプロマ・ポリシーとそれぞれのコースで養成する人材像に求められる能力との整合性に留意した上で、コースの特色がわかる具体的な教育目標となるよう適切に改めること。

(対応)

本学科で養成する「医療産業人」とは「人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職域で活躍できる人材」と定義している。

この養成する人材像はコース共通であり、審査意見でご指摘のとおり、ディプロマ・ポリシーと重複した教育目標をコースごとに設定することでコース共通のディプロマ・ポリシーが明確にならないため、各コースの教育目標は削除する。

以上について、「1. 設置の趣旨及び必要性」の「(3) 教育研究上の目的及び人材養成の目的」に修正を行う。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (8 ページ)

新	旧
1. 設置の趣旨及び必要性 (3) 教育研究上の目的及び人材養成の目的 (略)	1. 設置の趣旨及び必要性 (3) 教育研究上の目的及び人材養成の目的 (略) <u>2) 各コースの教育目標</u> <u>【診療放射線学コース】</u> ①評価基準の観点 [関心・意欲・態度] ・生命に対する尊厳と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。 ②評価基準の観点 [知識・理解] ・学際的・多角的な視野に立ち、診療放射線学分野の専門知識と技術を修得し、先進医療に対応することができる知識と技術を身に付ける。 ③評価基準の観点 [技能・表現・コミュ

	<p><u>ニケーション]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>多職種間連携・協働の理解に基づいた医療の実態を理解し、患者の安全を認識する能力を修得し、チーム医療を実践するためのコミュニケーション力を身に付ける。</u> <p>④ <u>評価基準の観点 [思考・判断・創造]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>放射線技術分野における最先端の情報を的確に収集し、創造的に課題を解決する能力を身に付け、患者や家族及び地域医療のニーズに応えることができ、医療の高度化にも対応できる能力を身に付ける。</u> <p>【臨床検査学コース】</p> <p>① <u>評価基準の観点 [関心・意欲・態度]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>生命に対する尊厳と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。</u> <p>② <u>評価基準の観点 [知識・理解]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学際的・多角的な視野に立ち、臨床検査学分野の専門知識と技術を修得し、先進医療に対応することができる知識と技術を身に付ける。</u> <p>③ <u>評価基準の観点 [技能・表現・コミュニケーション]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>多職種間連携・協働の理解に基づいた医療の実態を理解し、患者の安全を認識する能力を修得し、チーム医療を実践するためのコミュニケーション力を身に付ける。</u> <p>④ <u>評価基準の観点 [思考・判断・創造]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>臨床検査分野における最先端の情報を的確に収集し、創造的に課題を解決する能力を身に付け、患者や家族及び地域医療のニーズに応えることができ、医療の</u>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>高度化にも対応できる能力を身に付ける。</p> <p>【臨床医工学コース】</p> <p>①評価基準の観点 [関心・意欲・態度]</p> <p>・生命に対する尊厳と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。</p> <p>②評価基準の観点 [知識・理解]</p> <p>・学際的・多角的な視野に立ち、臨床医工学分野の専門知識と技術を修得し、先進医療に対応することができる知識と技術を身に付ける。</p> <p>③評価基準の観点 [技能・表現・コミュニケーション]</p> <p>・多職種間連携・協働の理解に基づいた医療の実態を理解し、患者の安全を認識する能力を修得し、チーム医療を実践するためのコミュニケーション力を身に付ける。</p> <p>④評価基準の観点 [思考・判断・創造]</p> <p>・臨床医工学分野における最先端の情報を的確に収集し、創造的に課題を解決する能力を身に付け、患者や家族及び地域医療のニーズに応えることができ、医療の高度化にも対応できる能力を身に付ける。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(是正事項) 保健医療学部 保健医療学科

2. 以下の点も踏まえ、本学科の教育課程が、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、修得すべき知識や能力等に係る教育が網羅され、体系的性が担保された上で、適切に編成されていることを明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(1) 「設置の趣旨等を記載した書類(資料)」において「カリキュラム・ツリー」(資料14)が示されているが、3つのコースは教育課程に違いがある中でまとめて記載されているため、カリキュラム・ツリーとして示すべき授業科目の履修の順序性や授業科目の関係性が不明確である。

(2) 本学の基本理念や学部の特色として「人間力教育」を掲げており、本学部において、「人間力教育」は重要な位置づけであると思料されるが、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーにおいて記載がなく、これを養成するカリキュラムが明らかでない。

(対応)

審査意見の対応について、まず(1)(2)の対応に関して以下に記す。

(1)

「カリキュラム・ツリー」(資料14)については、各コースの授業科目の履修の順序性や授業科目の関係性を示すため、コースごとに作成し、資料の差替えを行う。

(2)

審査意見のとおり、本学の基本理念や学部の特色として「人間力教育」を掲げており、本学部において「人間力教育」は重要な位置づけである。本学における「人間力」とは、自立した一人の人間として力強く生きていくための力であり、その構成要素は多岐にわたる。当初申請書には、人間力のこれら構成要素を本学部における身に付けるべき具体的な資質・能力として、ディプロマ・ポリシー(DP)に学士力(知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力)の観点から、「関心・意欲・態度」(旧DP①)、「知識・理解」(旧DP②)、「技能・表現・コミュニケーション」(旧DP③)、「思考・判断・創造」(旧DP④)の4つの観点に整理して記載していた。しかしながら、審査意見のとおり、本学における「人間力」の定義と、その構成要素としてのDPにおける身に付けるべき具体的な資質・能力の関係性が不明確であることから、人間力の定義を「1. 設置の趣旨及び必要性」の「(3) 教育研究上の目的及び人材育成の目的」に追記するとともに、DPを見直す。

具体的には、本学における「人間力」とは、自立した一人の人間として力強く生きていくための力であり、「こころの力」と「社会人基礎力」として定義している。「こころの力」とは他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性を育む力である。「社会人基礎力」とは学問分野、職業分野にとらわれず共通の基盤として持つべき、主体性を持ち、課題解決できる力とチームの中で協調して行動しコミュニケーションやプレゼンテーションできる基礎的な能力である。この人間力の定義を本文に追記し、定義に基づく人間力の資質・能力を直接的に分かりやすくまとめ、新しいDP①の中に「人間力の基盤である他者を

思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。」として記述する。

あわせて、カリキュラム・ポリシー（CP）を見直す。まず、人間力の育成において、自ら主体的な学びの実践ができるようになることが重要であることから、CP①「自立した一人の人間としての人間性や行動力の基礎を修得するための初年次教育科目を配置する。」として、初年次教育科目に関するCPを単独で記述する。これは「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン（平成28年3月31日 中央教育審議会大学分科会大学教育部会）」（以下、ガイドライン）のp.6「特に、初年次教育については、多様な入学者が自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できるようにする観点から充実を図ること。」にも対応するものである。また、人間力を育成するCPとして、CP④「人間力の概念を理解し、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を修得するための科目を配置する。」を記述する。

以上の（1）及び（2）の対応を踏まえ、DP及びCPについてあらためて検討を行い、見直しを行う。本学部で養成する人材像は、当初申請書本文にあるとおり、「人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職域で活躍できる医療産業人」である。これに対応して、DPについては、人間力に関わる資質・能力をDP①に、専門の能力に関する資質・能力をDP②に、職業能力に関する資質・能力をDP③に、それぞれ具体的に記述する。また、AI・デジタルの活用に関する資質・能力は、これからの地域医療現場や様々な関連職域で活躍するためには必須の資質・能力であることから、これをDP④に記述する。見直しを行う新しいDPは以下のとおりであり、申請書を修正する。あわせて、資料13「カリキュラム・マップ」を見直す。

【保健医療学部保健医療学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- DP①生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。
- DP②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。
- DP③医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。
- DP④日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。

修正を行う新しい DP に対応して、CP を見直すとともに、「4. 教育課程の編成の考え方及び特色」の「(1) 教育課程の基本構成と方針」に加筆を行う。見直しを行う新しい CP は以下のとおりであり、最初に科目区分の構成（教養教育科目、専門教育科目）と専門教育科目について、3 コースそれぞれの科目とコース共通科目で構成されることを明記する。

新しい CP では、人間力の基礎に関わる DP①を養成する CP について、CP①及び CP④に記述する。診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士のそれぞれに求められる基本的な資質・能力である DP②を養成する CP については、これに関わる教養教育科目に関することを CP②に、専門教育科目に関することを CP③に記述する。職業能力及びチーム医療の実践、多職種間の連携に必要な課題解決力である DP③を養成する CP は、その基礎を CP④、応用的体系的な科目を CP⑥に記述する。また、CP⑥には、DP②と DP③の能力を総合的に向上させる科目配置に関わる内容を含んでいる。AI・デジタルに関する資質・能力に関わる DP④を養成する CP は、CP⑤に記述する。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

＜教育課程編成＞

本学部では、本学の基本理念に基づいたディプロマ・ポリシーを実現するため、教育課程は「教養教育科目」及び「専門教育科目」の2つの科目区分で構成し編成する。「専門教育科目」は「診療放射線学」「臨床検査学」「臨床医工学」の各コースに関する科目と「コース共通」科目で構成し編成する。

CP①自立した一人の人間としての人間性や行動力の基礎を修得するための初年次教育科目を配置する。(DP①に対応)

CP②幅広い教養を修得するための科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解に関する科目を配置する。(DP②に対応)

CP③医療現場で共通に必要な知識と技能、倫理観を修得したうえで、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門的な知識と技能を修得するための科目を配置する。(DP②に対応)

CP④人間力の概念を理解し、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を修得するための科目を配置する。(DP①及び③に対応)

CP⑤日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、保健医療分野において AI を活用できる知識とデジタル医療に対応する科目を配置する。(DP④に対応)

CP⑥医療産業人としての知識と技能を体系的に深く理解し、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門的な知識、技能、態度の総合的な向上を図るための科目を配置する。(DP②及び③に対応)

なお、「ガイドライン」を踏まえ、CP には、「教育課程編成」のほか、「教育方法」「学修成果の評価」の方針についても明記することが望ましいと判断し、追記する。

<教育方法>

- ①カリキュラム・マップを踏まえた授業を実現するため、シラバスの各科目の概要・到達目標・成績評価の方法は学部として組織的に確認し、質的向上を図る。
- ②講義と演習、実習を組み合わせ、主体的な学びの実践を通じて知識と技能の深化・定着を図る。

<学修成果の評価>

- ①シラバスに到達目標を具体的に明示し、到達目標に対応した評価方法により厳格な成績評価を行う。
- ②ディプロマ・ポリシーに示した資質・能力の達成状況を確認するため、その総合的な評価を卒業研究において行う。

以上の DP 及び CP の見直しに基づき、各コースの修得すべき知識や能力等に係る教育が網羅され、体系的に担保された上で、適切に編成されていることを示すため、資料 14 カリキュラム・ツリーを見直し、これをコースごとに示す。また、養成する人材像、DP、CP の関係性を分かりやすく図示するため、連関図を作成する。あわせて、人間力の基礎に関する教育を明示するため、「(2) 教養教育科目」に加筆修正を行う。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (8~9 ページ)

新	旧
<p>1. 設置の趣旨及び必要性</p> <p>(3) 教育研究上の目的及び人材養成の目的</p> <p>「産学一致」の建学の精神に則り、大学の基本理念として掲げた「産学一致」、「人間力の育成」及び「社会・地域貢献」を踏まえたうえで、本学部においても「人間力教育」の考え方を基本とし、専門分野に関する知識と技術の修得に加えて、幅広い教養と倫理観を持ち、豊かな人間性と地域愛を基盤に、「人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職域で活躍できる人材」を「医療産業人」と呼称し、優秀な医療産業人を輩出することを教育研究上の目的とする。</p> <p><u>基本理念の一つである「人間力の育成」は本学の教育において重要かつ根幹となるが、本学における「人間力」とは、自立した</u></p>	<p>1. 設置の趣旨及び必要性</p> <p>(3) 教育研究上の目的及び人材養成の目的</p> <p>「産学一致」の建学の精神に則り、大学の基本理念として掲げた「産学一致」、「人間力の育成」及び「社会・地域貢献」を踏まえたうえで、本学部においても「人間力教育」の考え方を基本とし、専門分野に関する知識と技術の修得に加えて、幅広い教養と倫理観を持ち、豊かな人間性と地域愛を基盤に、「人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職域で活躍できる人材」を「医療産業人」と呼称し、優秀な医療産業人を輩出することを教育研究上の目的とする。【資料 13 カリキュラム・マップ】</p>

<p><u>一人の人間として力強く生きていくための力であり、「こころの力」と「社会人基礎力」からなる力として定義している。「こころの力」とは他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性を育む力である。「社会人基礎力」とは学問分野、職業分野にとらわれず共通の基盤として持つべき、主体性を持ち、課題解決できる力とチームの中で協調して行動しコミュニケーションやプレゼンテーションできる基礎的な能力である。</u></p> <p><u>相手の立場に立って患者と接することやチーム医療、多職種間の連携が求められる医療現場の現状を踏まえると、これらの力は本学部においても重要な能力である。</u></p> <p>【資料 13 カリキュラム・マップ】</p> <p>【保健医療学部保健医療学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】</p> <p><u>本学部では、本学の基本理念に基づき、人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職域で活躍できる医療産業人を養成することを人材養成の目的としている。本学部の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた者に卒業を認定し学位を授与する。</u></p> <p>①<u>生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。</u></p> <p>②<u>幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。</u></p>	<p>1) <u>保健医療学部保健医療学科のディプロマ・ポリシー（DP）</u></p> <p>大学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた者に卒業を認定し学位を授与する。</p> <p>①<u>評価基準の観点 [関心・意欲・態度]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>生命に対する尊厳と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。</u> <p>②<u>評価基準の観点 [知識・理解]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職域において、医療技術の知識と技能を活用することができる。</u>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>③医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。</p> <p>④日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。</p>	<p>③評価基準の観点 [技能・表現・コミュニケーション]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者を思いやり、相手の立場に立った共感力を身に付け、チームの中で協調して行動し、チーム医療実践のための問題解決力、多職種とのコミュニケーション力やプレゼンテーション能力を身に付けている。 <p>④評価基準の観点 [思考・判断・創造]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合的な視点から課題を解決できる力と医療の高度化、情報化に対応できる力を身に付けている。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (15～17 ページ)

新	旧
<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1) 教育課程の基本構成と方針</p> <p>大学全体に共通する教育課程の編成として、1 年次では教養教育科目を中心に基本的な知識と <u>人間力の基礎を含む汎用能力</u> を幅広く修得し、2 年次では基礎的な専門知識を学び、3 年次ではさらに専門的かつ実践的な知識と技術を身に付け、4 年次ではそれまでに学んだ教養教育科目・専門教育科目での取り組みの集大成として、卒業研究など自主的な課題解決型の学修を行うこととしている。学部が掲げる「養成する人材像」及び「保健医療学科の特色」の趣旨を踏まえて、<u>本学部のディプロマ・ポリシーを実現するために、教育課程において、「教養教育科目」及び「専門教育科目」の枠組みの中で、各コースの科目を配置し順次体系的に構成している。</u></p> <p>この科目の構成は、医療産業人としての必要な素養を育成するとともに、専門知識と技能を確実に修得させるだけでなく、幅広い教養と倫理観を持ち、豊かな人間性と</p>	<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1) 教育課程の基本構成と方針</p> <p>大学全体に共通する教育課程の編成として、1 年次では教養教育科目を中心に基本的な知識と汎用能力を幅広く修得し、2 年次では基礎的な専門知識を学び、3 年次ではさらに専門的かつ実践的な知識と技術を身に付け、4 年次ではそれまでに学んだ教養教育科目・専門教育科目での取り組みの集大成として、卒業研究など自主的な課題解決型の学修を行うこととしている。学部が掲げる「養成する人材像」及び「保健医療学科の特色」の趣旨を実現するために、教育課程において、「教養教育科目」及び「専門教育科目」の枠組みの中で、各コースの科目を配置し順次体系的に構成している。</p> <p>この科目の構成は、医療産業人としての必要な素養を育成するとともに、専門知識と技能を確実に修得させるだけでなく、幅広い教養と倫理観を持ち、豊かな人間性と</p>

<p>地域愛を基盤に、「人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職域で活躍できる人材」育成の目的のために、中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」（平成 20（2008）年）を踏まえて、学士力（知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力）を育むように編成している。</p> <p>したがって、本学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づきカリキュラムを編成する。【資料 14 カリキュラム・ツリー】</p> <p>【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】</p> <p><u>＜教育課程編成＞</u></p> <p><u>本学部では、本学の基本理念に基づいたディプロマ・ポリシーを実現するため、教育課程は「教養教育科目」及び「専門教育科目」の 2 つの科目区分で構成し編成する。</u></p> <p><u>「専門教育科目」は「診療放射線学」「臨床検査学」「臨床医工学」の各コースに関する科目と「コース共通」科目で構成し編成する。</u></p> <p><u>①自立した一人の人間としての人間性や行動力の基礎を修得するための初年次教育科目を配置する。（DP①に対応）</u></p> <p><u>②幅広い教養を修得するための科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解に関する科目を配置する。（DP②に対応）</u></p> <p><u>③医療現場で共通に必要な知識と技能、倫理観を修得したうえで、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門的な知識と技能を修得するための科目を配置する。（DP②に対応）</u></p>	<p>地域愛を基盤に、「人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職域で活躍できる人材」育成の目的のために、中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」（平成 20（2008）年）を踏まえて、学士力（知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力）を育むように編成している。</p> <p>したがって、本学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づきカリキュラムを編成する。【資料 14 カリキュラム・ツリー】</p> <p>【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】</p> <p><u>①幅広い教養と倫理観を修得させるとともに、チーム医療に必要なコミュニケーション力を修得するための科目を配置する。</u></p> <p><u>②医療産業人として必要な知識を有し、発想力や課題解決力を修得するための科目を配置する。</u></p> <p><u>③日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、保健医療分野における AI を活用できる知識とデジタル医療に対応する科目を配置する。</u></p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>④人間力の概念を理解し、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を修得するための科目を配置する。(DP①及び③に対応)</p> <p>⑤日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、保健医療分野においてAIを活用できる知識とデジタル医療に対応する科目を配置する。(DP④に対応)</p> <p>⑥医療産業人としての知識と技能を体系的に深く理解し、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門的な知識、技能、態度の総合的な向上を図るための科目を配置する。(DP②及び③に対応)</p> <p><教育方法></p> <p>①カリキュラム・マップを踏まえた授業を実現するため、シラバスの各科目の概要・到達目標・成績評価の方法は学部として組織的に確認し、質的向上を図る。</p> <p>②講義と演習、実習を組み合わせ、主体的な学びの実践を通じて知識と技能の深化・定着を図る。</p> <p><学修成果の評価></p> <p>①シラバスに到達目標を具体的に明示し、到達目標に対応した評価方法により厳格な成績評価を行う。</p> <p>②ディプロマ・ポリシーに示した資質・能力の達成状況を確認するため、その総括的評価を卒業研究において行う。</p> <p><養成する人材像、ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)の関連図></p>	<p>④医療現場で必要となる実践的な知識と技能を修得するために必要な、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学の専門的な知識と技能を修得するための科目を配置する。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

日本文理大学 保健医療学部 保健医療学科
養成する人材像、ディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）の連携図

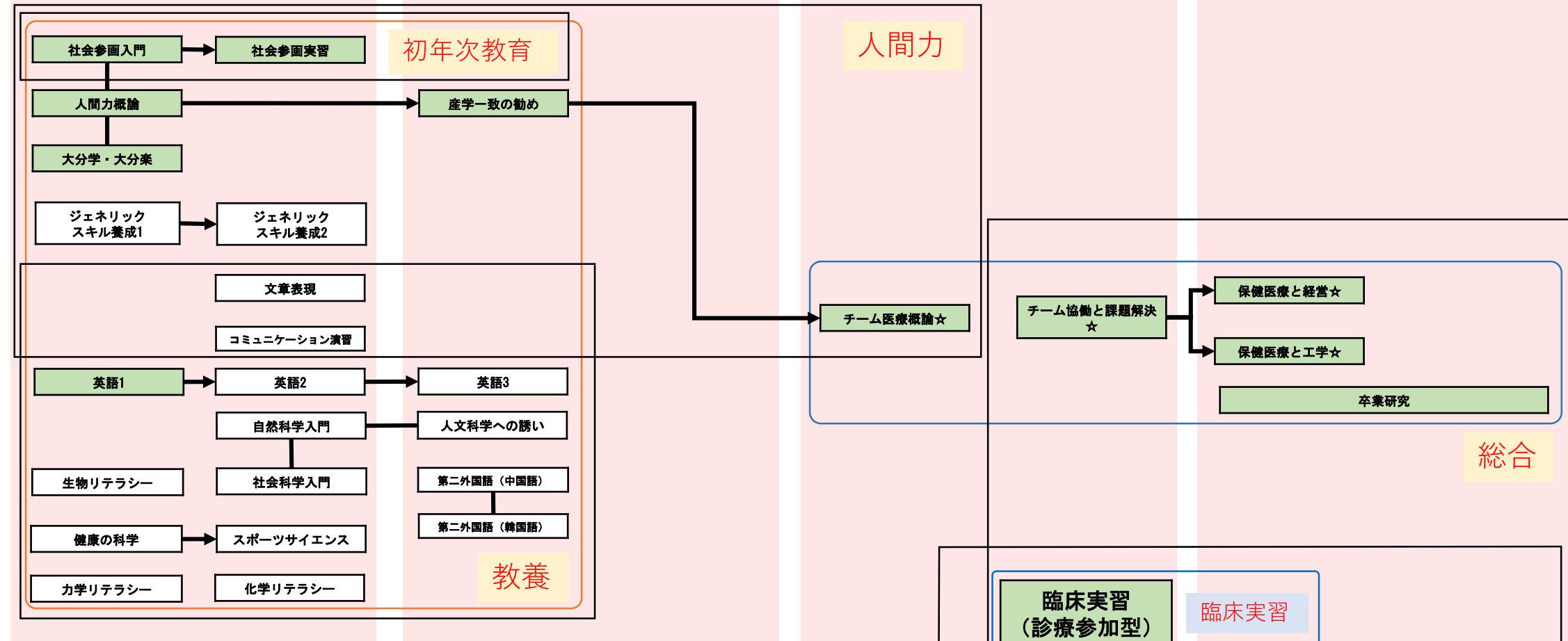
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー
養成する人材像	<p>DP① 社会に求められる幅広い専門知識と実践力を備え、人間力の涵養である創造力を磨き、新しい状況に対応した実践力や豊かな感性、芸術性に特長のある中で活躍して行けるコミュニケーション能力を身に付け、キャリアアップが可能な人材を養成する。</p> <p>DP② 幅広い教養と倫理観を基盤として、看護技術学、臨床検査学、理学療法などの付加価値の取得等に資する知識・技能を習得し、就業が期待できている。</p> <p>DP③ 自然の摂理を理解し、その中で必要となる知識・技能を習得し、再発の予防に資する。</p> <p>DP④ 日々診療を担う医療従事者、医療技術者、管理者の役割、職務の重要性、倫理観を身に付け、最新の医療技術や最新の医療機器を適切に活用できる人材を育成している。</p>	<p>CP① 幅広い一人の人間としての人間性や行動力の基礎を習得するための初年次教育科目を配課程とする。</p> <p>CP② 幅広い教養を修得するための科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解に関する科目を配課程とする。</p> <p>CP③ 医療現場で実践に必要な知識と技能、倫理を習得したうえで、診療技術学、臨床検査学、理学療法などの付加価値の取得に必要な知識と技能を習得するための科目を配課程とする。</p> <p>CP④ 人間の概念を把握し、その人間の生活や多様な環境の理解に必要な基礎知識を習得するための科目を配課程とする。</p> <p>CP⑤ 日々診療を担う医療従事者、医療技術者を理解し、最新の医療技術や最新の医療機器に関する科目を配課程とする。</p> <p>CP⑥ 医療従事者としての知識と技術や体系的に深く理解し、臨床現場で、臨床検査学、理学療法学などの付加価値の取得に必要な知識と技能を習得するための科目を配課程とする。</p>

（2）教養教育科目

教養教育科目は、主体的な学びへ転換する初年次教育科目を土台として、産業界で必要な人間力の基礎を育成する科目と、幅広い教養を修得するための科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解である基礎分野を網羅する科目を開講し、教育課程を編成している。

（2）教養教育科目

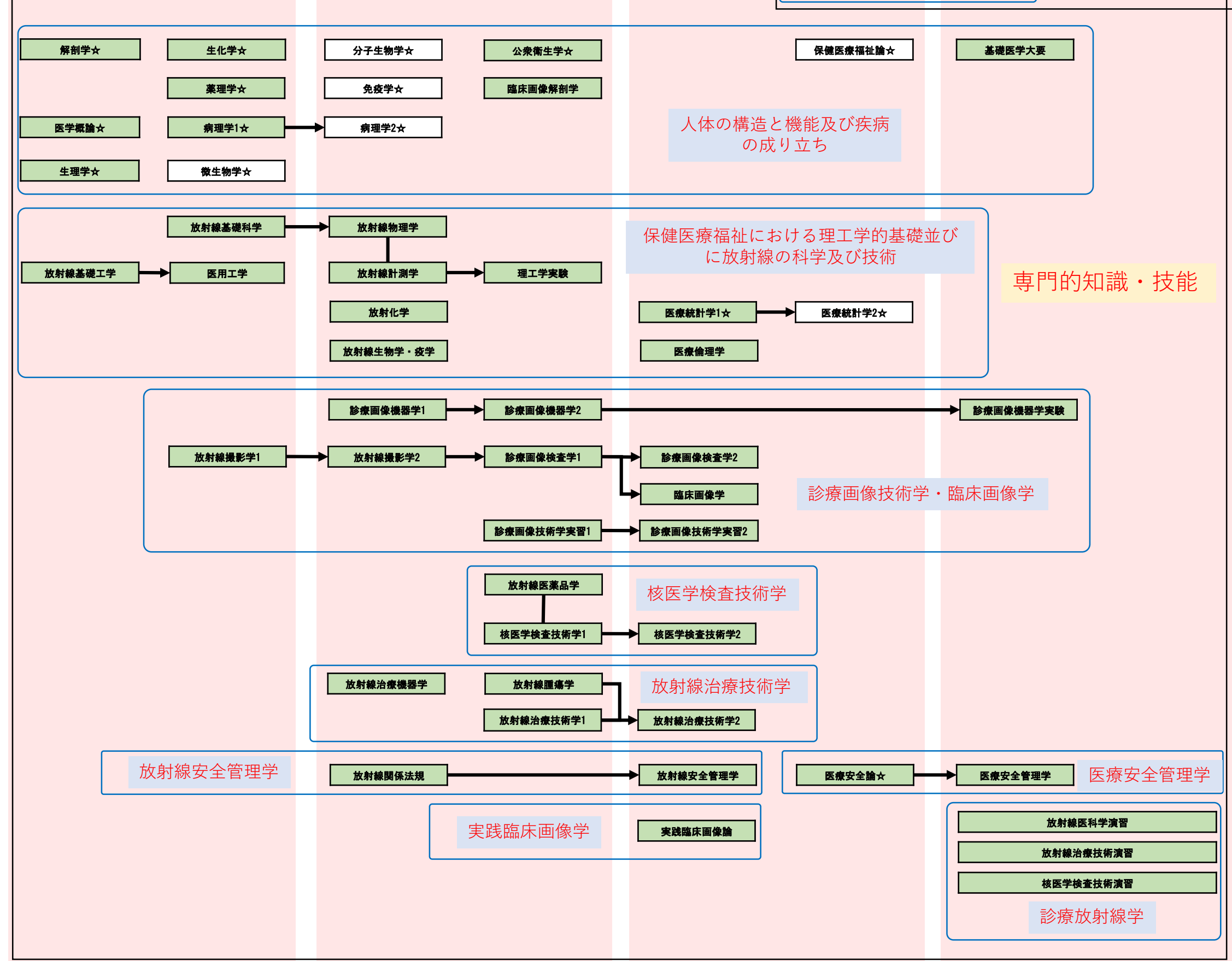
教養教育科目は、科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解である基礎分野を網羅し、産業界で必要な人間力の基礎を育成するため、各学部・学科が共通して開講する科目と学部の特色を生かした科目を開講し教育課程を編成している。



ディプロマポリシー ※主に対応するもの

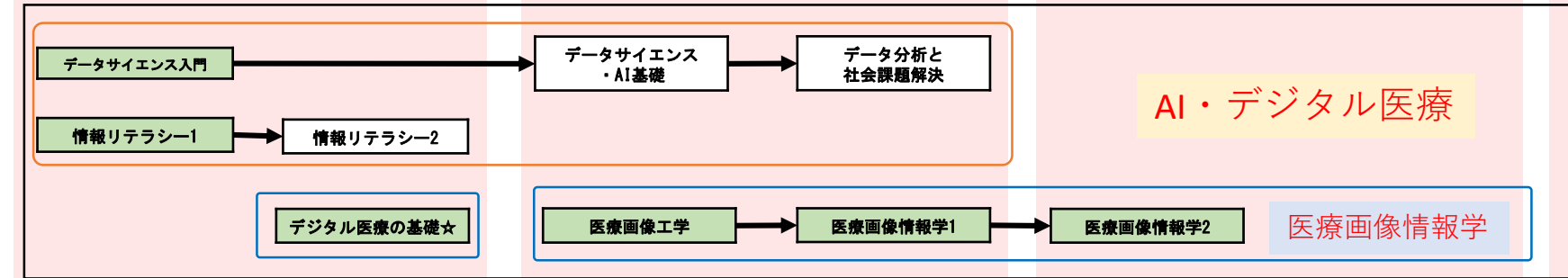
DP① 生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。

DP③ 医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。



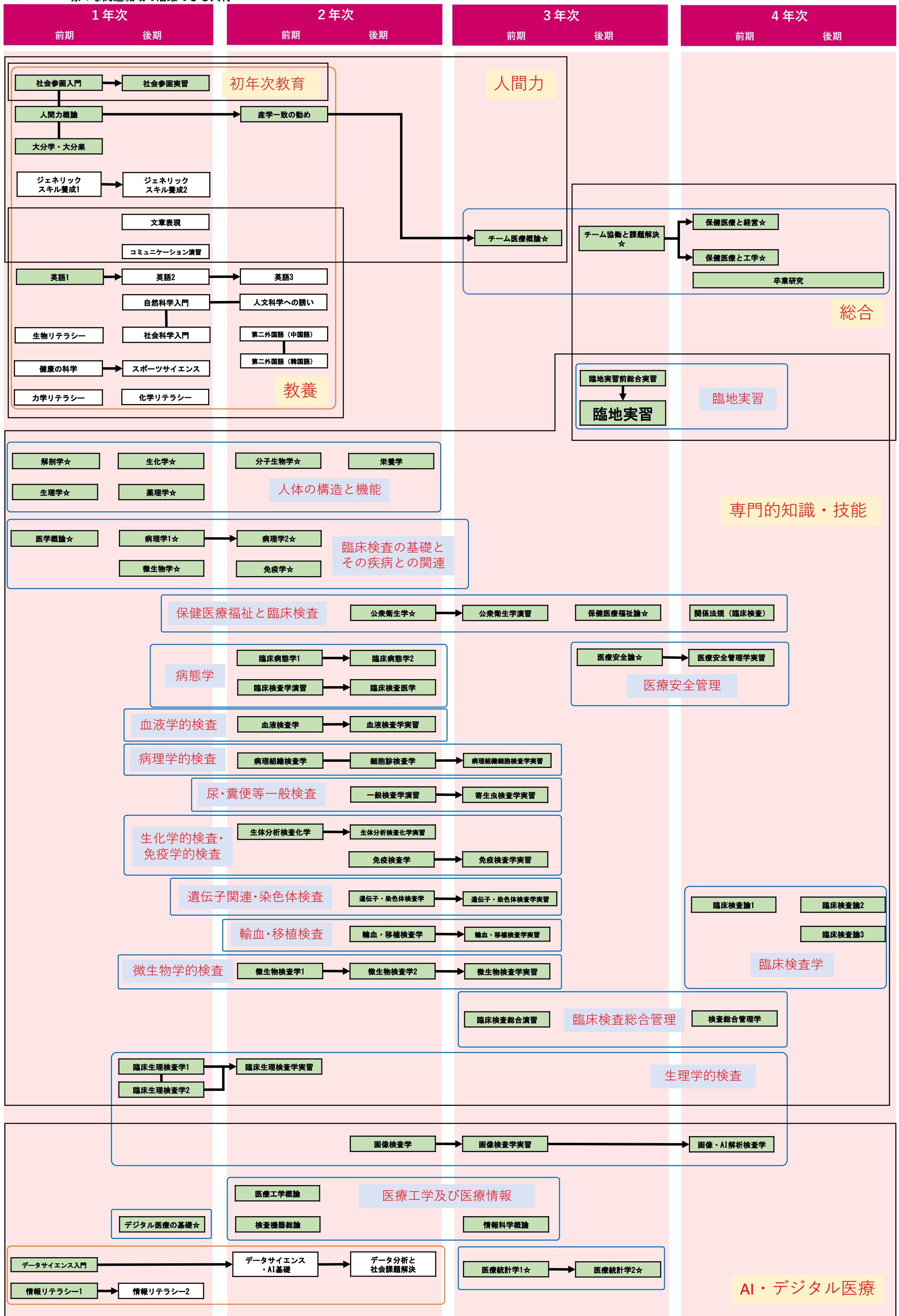
DP② 幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。

DP④ 日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。



養成する人材像：人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職種で活躍できる人材

- 必修科目
- 選択科目
- ☆ …3コース共通専門教育科目
- 教養教育科目
- 専門教育科目



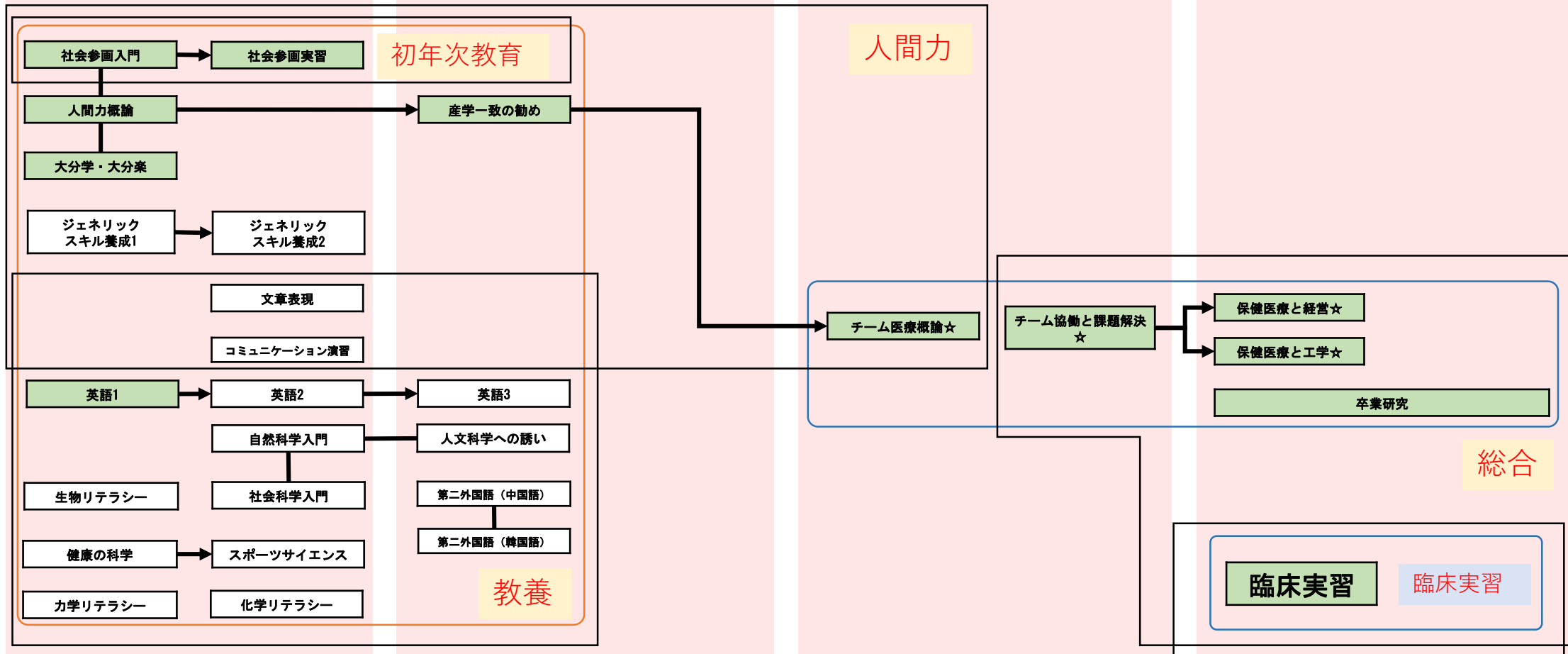
ディプロマポリシー
※主に対応するもの

DP① 生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感性や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。

DP③ 医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。

DP② 幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。

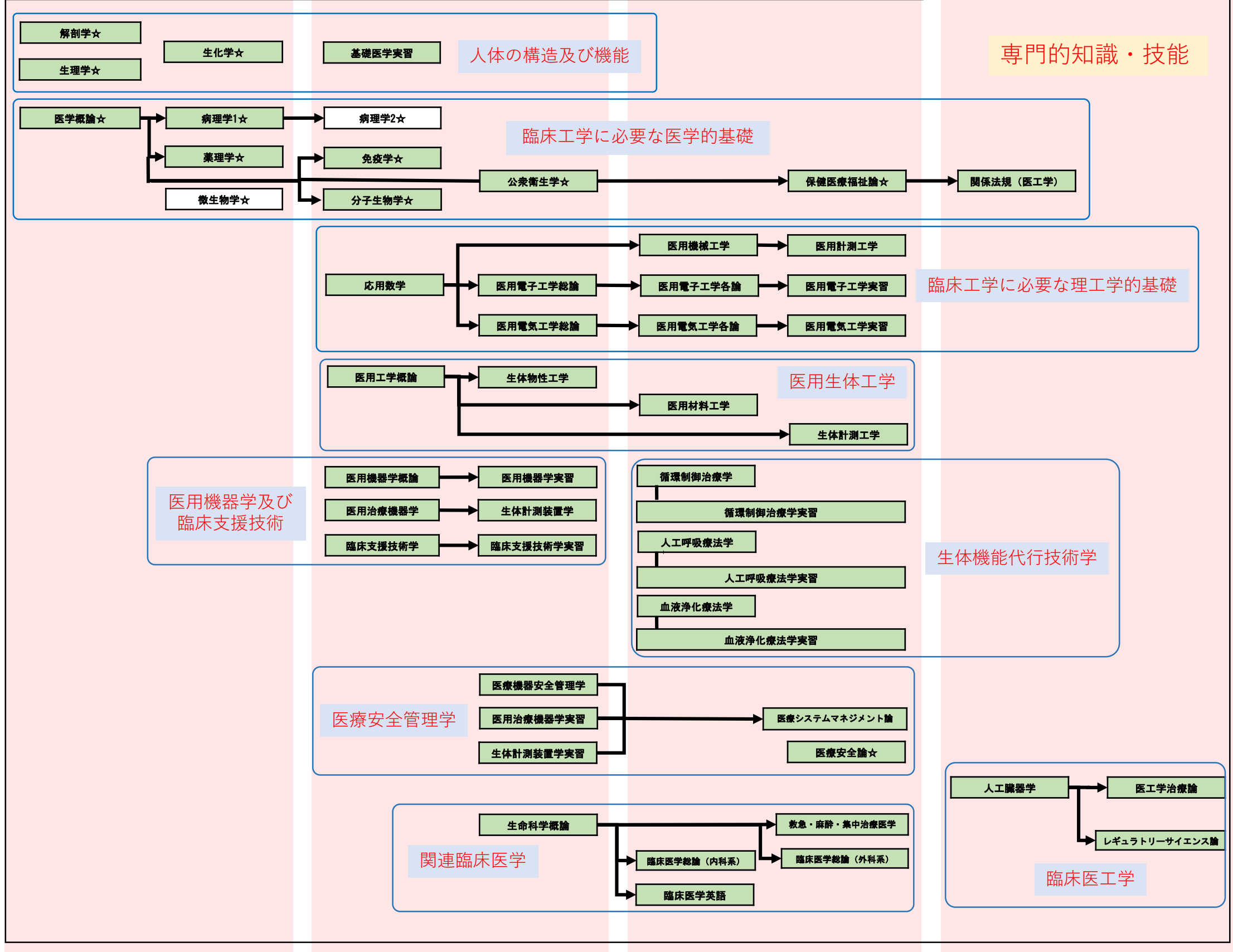
DP④ 日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。



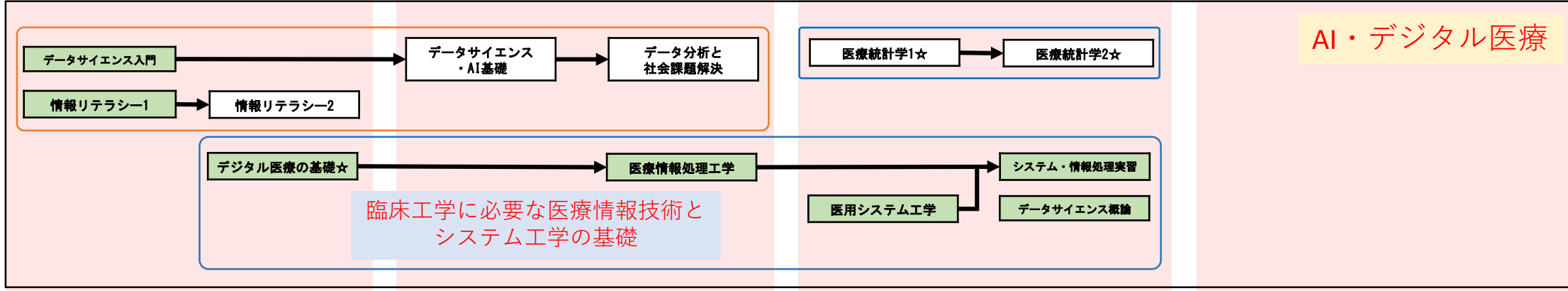
ディプロマポリシー
※主に対応するもの

DP① 生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感性や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。

DP③ 医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。



DP② 幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。



AI・デジタル医療

DP④ 日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。

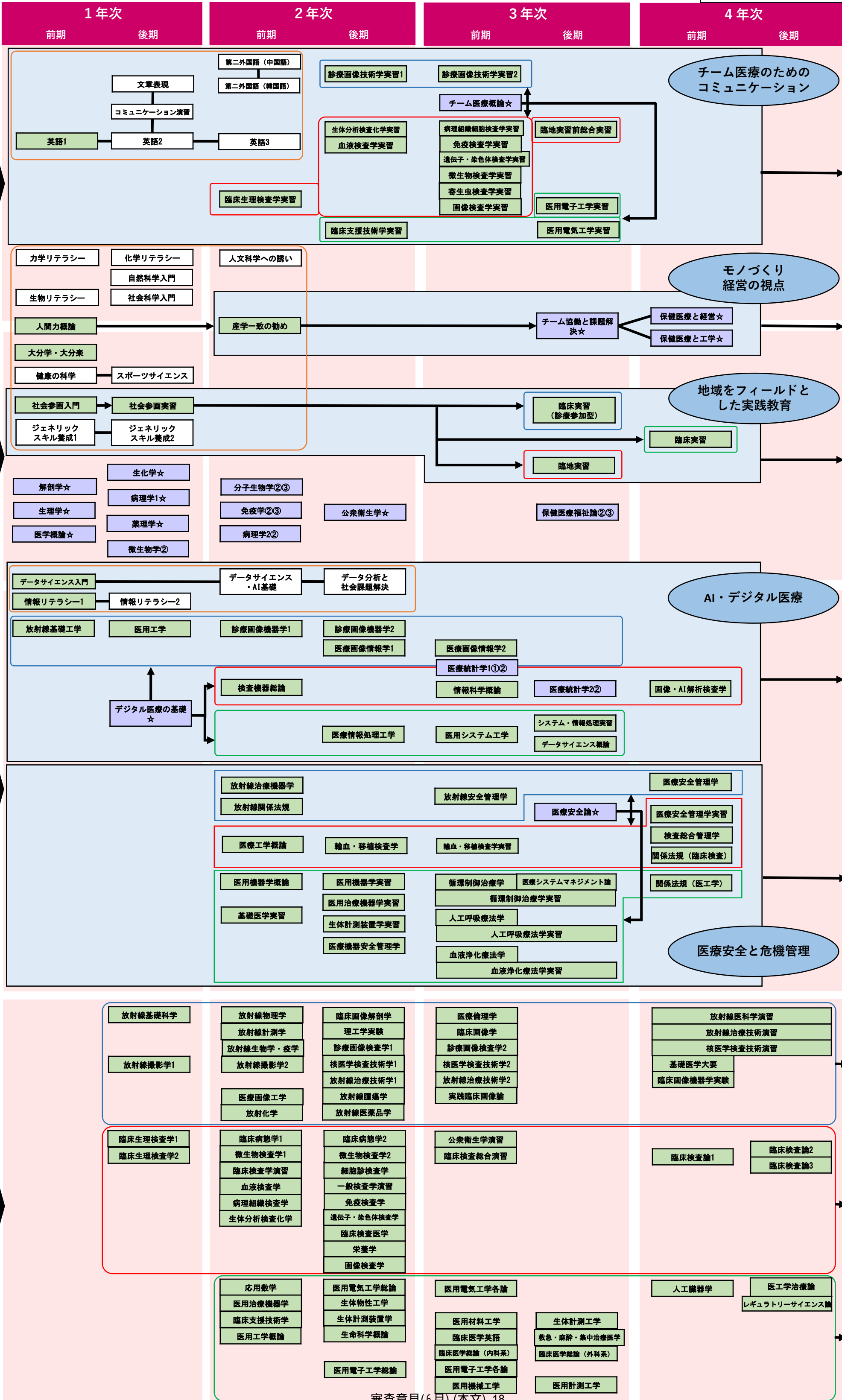
カリキュラムポリシー

①幅広い教養と倫理観を修得させるとともに、チーム医療に必要なコミュニケーション力を修得するための科目を配置する。

②医療産業人として必要な知識を有し、発想力や課題解決力を修得するための科目を配置する。

③日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、保健医療分野におけるAIを活用できる知識とデジタル医療に対応する科目を配置する。

④医療現場で必要となる実践的な知識と技能を修得するために必要な、診療放射線学、臨床検査学、臨床工学の専門的な知識と技能を修得するための科目を配置する。



ディプロマポリシー

- ※主に対応するもの
- ①[関心・意欲・態度] 生命に対する尊敬と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。
 - ②[知識・理解] 医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職種において、医療技術の知識と技能を活用することができる。
 - ③[技能・表現・コミュニケーション] 他者を思いやり、相手の立場に立った共感力を身に付け、チームの中で協調して行動し、チーム医療実践のための問題解決力、多職種とのコミュニケーション力やプレゼンテーション能力を身に付けている。
 - ④[思考・判断・創造] 複合的な視点から課題を解決できる力と医療の高度化、情報化に対応できる力を身に付けている。

- ②[知識・理解] 医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職種において、医療技術の知識と技能を活用することができる。
- ④[思考・判断・創造] 複合的な視点から課題を解決できる力と医療の高度化、情報化に対応できる力を身に付けている。

- ②[知識・理解] 医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職種において、医療技術の知識と技能を活用することができる。

卒業研究

保健医療学部保健医療学科カリキュラム・マップ				DPとの関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目区分	科目名	必修・選択	配当年次	DP			
				①生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。	②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	③医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。	④日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。
教養教育科目	力学リテラシー	選択	1	○	◎		
	生物リテラシー	選択	1	○	◎		
	化学リテラシー	選択	1		◎		
	情報リテラシー1	必修	1	○	○	○	◎
	情報リテラシー2	選択	1	○	○	○	◎
	自然科学入門	選択	1		◎		
	社会科学入門	選択	1	○	◎		
	社会参画入門	必修	1	◎	○	○	
	社会参画実習	必修	1	◎	△	◎	○
	人間力概論	必修	1	◎	○	○	○
	産学一致の勧め	必修	2	◎	◎	◎	○
	英語1	必修	1	◎	◎	○	
	英語2	選択	1	◎	◎	○	
	英語3	選択	2	◎	◎	○	
	第二外国語 (韓国語)	選択	2	○	◎	△	
	第二外国語 (中国語)	選択	2	○	◎	△	
	コミュニケーション演習	選択	1	◎	○	◎	
	文章表現	選択	1	◎	○	○	○
	データサイエンス入門	必修	1		○	○	◎
	データサイエンス・AI基礎	選択	2		○	○	◎
	データ分析と社会課題解決	選択	2	◎	○	◎	◎
	大分学・大分県	必修	1	◎	◎	○	△
	健康の科学	選択	1	○	◎	△	
スポーツサイエンス	選択	1	◎	◎	○		
人文科学への誘い	選択	2	◎	◎	○		
ジェネリックスキル養成1	選択	1	◎		◎		
ジェネリックスキル養成2	選択	1	◎	△	◎	◎	
専門教育科目	コース共通	解剖学	必修	1	○	◎	
		生理学	必修	1	○	◎	
		生化学	必修	1	○	◎	
		病理学1	必修	1	○	◎	
		病理学2	選択	2	○	◎	
		微生物学	選択	1	○	◎	
		分子生物学	選択	2	○	◎	
		免疫学	選択	2	○	◎	
		医学概論	必修	1	○	◎	
		薬理学	必修	1	○	◎	
		公衆衛生学	必修	2	○	◎	△
	デジタル医療の基礎	必修	1		◎	◎	
	チーム医療概論	必修	3	◎	◎	◎	
	保健医療福祉論	選択	3	○	◎	△	
	医療安全論	必修	3	○	◎	○	
	医療統計学1	選択	3		◎	◎	
	医療統計学2	選択	3		◎	◎	
	チーム協働と課題解決	必修	3	○	◎	◎	
	保健医療と経営	必修	4		◎	◎	
	保健医療と工学	必修	4		◎	◎	
	卒業研究	必修	4	◎	◎	◎	
	診療放射線学	臨床画像解剖学	選択	2		◎	
		基礎医学大要	選択	4		◎	
放射線基礎科学		選択	1	○	◎		
放射線基礎工学		選択	1		◎	○	
医用工学		選択	1		◎	○	
放射線物理学		選択	2		◎		
放射化学		選択	2		◎		
放射線生物学・疫学		選択	2		◎		
放射線計測学		選択	2		◎		
理工学実験		選択	2	○	◎		
医療倫理学		選択	3	○	◎	○	
放射線撮影学1		選択	1		◎		

保健医療学部保健医療学科カリキュラム・マップ				DPとの関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目区分	科目名	必修・選択	配当年次	DP			
				①生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。	②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	③医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。	④日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。
診療放射線学	放射線撮影学2	選択	2		◎		
	臨床画像学	選択	3		◎		
	診療画像機器学1	選択	2		◎		○
	診療画像機器学2	選択	2		◎		○
	診療画像機器学実験	選択	4		◎		
	診療画像検査学1	選択	2		◎		
	診療画像検査学2	選択	3		◎		
	診療画像技術学実習1	選択	2	◎	◎	○	
	診療画像技術学実習2	選択	3	◎	◎	○	
	放射線医薬品学	選択	2		◎		
	核医学検査技術学1	選択	2		◎		
	核医学検査技術学2	選択	3		◎		
	放射線腫瘍学	選択	2		◎		
	放射線治療技術学1	選択	2		◎		
	放射線治療技術学2	選択	3		◎		
	放射線治療機器学	選択	2		◎		△
	医療画像工学	選択	2		◎		
	医療画像情報学1	選択	2		◎		○
	医療画像情報学2	選択	3		◎		○
	放射線関係法規	選択	2	○	◎		△
	放射線安全管理学	選択	3		◎		△
	医療安全管理学	選択	4		◎	○	△
	実践臨床画像論	選択	3		◎	◎	
	放射線医科学演習	選択	4		◎		◎
	放射線治療技術演習	選択	4		◎		◎
	核医学検査技術演習	選択	4		◎		◎
臨床実習(診療参加型)	選択	3		◎	◎	◎	
専門教育科目	栄養学	選択	2	○	◎		
	公衆衛生学演習	選択	3	○	◎	◎	
	関係法規(臨床検査)	選択	4	○	◎		△
	医療工学概論	選択	2		◎		△
	検査機器総論	選択	2		◎		○
	情報科学概論	選択	3		◎		○
	臨床病態学1	選択	2		◎		
	臨床病態学2	選択	2		◎		
	臨床検査医学	選択	2		◎		
	臨床検査学演習	選択	2		◎	◎	
	血液検査学	選択	2		◎		
	血液検査学実習	選択	2	◎	◎	○	
	病理組織検査学	選択	2		◎		
	細胞診検査学	選択	2		◎		
	病理組織細胞検査学実習	選択	3	◎	◎	○	
	一般検査学演習	選択	2		◎	○	
	寄生虫検査学実習	選択	3	◎	◎	○	
	生体分析検査化学	選択	2		◎		
	生体分析検査化学実習	選択	2	◎	◎	○	
	免疫検査学	選択	2		◎		
	免疫検査学実習	選択	3	◎	◎	○	○
	遺伝子・染色体検査学	選択	2		◎		
	遺伝子・染色体検査学実習	選択	3	◎	◎	○	○
	輸血・移植検査学	選択	2		◎		△
	輸血・移植検査学実習	選択	3	◎	◎	○	○
	微生物検査学1	選択	2		◎		
微生物検査学2	選択	2		◎			
微生物検査学実習	選択	3	◎	◎	○	○	
臨床生理検査学1	選択	1		◎			
臨床生理検査学2	選択	1		◎			
臨床生理検査学実習	選択	2	◎	◎	○		
画像検査学	選択	2		◎			
画像検査学実習	選択	3	◎	◎	○		
画像・AI解析検査学	選択	4		◎		◎	

保健医療学部保健医療学科カリキュラム・マップ				DPとの関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目区分	科目名	必修・選択	配当年次	DP			
				①生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。	②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	③医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。	④日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。
臨床検査学	臨床検査総合演習	選択	3		◎	◎	◎
	検査総合管理学	選択	4		◎		◎
臨床検査学	医療安全管理学実習	選択	4	◎	◎	○	△
	臨床検査論1	選択	4		◎		○
臨床検査学	臨床検査論2	選択	4		◎		○
	臨床検査論3	選択	4		◎		○
臨床検査学	臨地実習前総合実習	選択	3	◎	◎	◎	◎
	臨地実習	選択	3	◎	◎	◎	◎
臨床検査学	基礎医学実習	選択	2	◎	○	○	△
	関係法規(医工学)	選択	4	○	◎		△
臨床検査学	応用数学	選択	2		◎		
	医用電気工学総論	選択	2		◎		
臨床検査学	医用電気工学各論	選択	3		◎		
	医用電気工学実習	選択	3		◎	○	
臨床検査学	医用電子工学総論	選択	2		◎		
	医用電子工学各論	選択	3		◎		
臨床検査学	医用電子工学実習	選択	3		◎	○	
	医用機械工学	選択	3		◎		
臨床検査学	医用計測工学	選択	3		◎		
	医療情報処理工学	選択	2		◎		○
臨床検査学	医用システム工学	選択	3		◎		○
	システム・情報処理実習	選択	3		◎	○	○
臨床検査学	データサイエンス概論	選択	3		◎		○
	医用工学概論	選択	2		◎		
臨床検査学	生体物性工学	選択	2		◎		
	医用材料工学	選択	3		◎		
臨床検査学	生体計測工学	選択	3		◎		
	医用機器学概論	選択	2		◎		△
臨床検査学	医用機器学実習	選択	2	◎	○	○	△
	医用治療機器学	選択	2		◎		
臨床検査学	生体計測装置学	選択	2		◎		
	臨床支援技術学	選択	2		◎		
臨床検査学	臨床支援技術学実習	選択	2	◎	○	○	
	循環制御治療学	選択	3		◎		△
臨床検査学	人工呼吸療法学	選択	3		◎		△
	血液浄化療法学	選択	3		◎		△
臨床検査学	循環制御治療学実習	選択	3	◎	○	○	△
	人工呼吸療法学実習	選択	3	◎	○	○	△
臨床検査学	血液浄化療法学実習	選択	3	◎	○	○	△
	医療機器安全管理学	選択	2		◎		△
臨床検査学	医用治療機器学実習	選択	2	◎	○	○	△
	生体計測装置学実習	選択	2	◎	○	○	△
臨床検査学	医療システムマネジメント論	選択	3		◎		○
	生命科学概論	選択	2	◎	○	△	
臨床検査学	臨床医学英語	選択	3		◎	○	
	救急・麻酔・集中治療医学	選択	3		◎		
臨床検査学	臨床医学総論(内科系)	選択	3		◎		
	臨床医学総論(外科系)	選択	3		◎		
臨床検査学	人工臓器学	選択	4	△	◎		○
	医工学治療論	選択	4		◎	△	○
臨床検査学	レギュラトリーサイエンス論	選択	4		◎		○
	臨床実習	選択	4	◎	◎	◎	◎

保健医療学部保健医療学科カリキュラム・マップ				DPとの関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目区分	科目名	必修・選択	配当年次	DP			
				①[関心・意欲・態度] 生命に対する尊敬と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。	②[知識・理解] 医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職種において、医療技術の知識と技能を活用することができる。	③[技能・表現・コミュニケーション] 他者を思いやり、相手の立場に立った共感力を身に付け、チームの中で協調して行動し、チーム医療実践のための問題解決力、多職種とのコミュニケーション力やプレゼンテーション能力を身に付けている。	④[思考・判断・創造] 複合的な視点から課題を解決できる力と医療の高度化、情報化に対応できる力を身に付けている。
教養教育科目	力学リテラシー	選択	1	○	◎		○
	生物リテラシー	選択	1		◎		
	化学リテラシー	選択	1		◎		
	情報リテラシー1	必修	1	△	○	◎	
	情報リテラシー2	選択	1	△	○	◎	
	自然科学入門	選択	1		◎		
	社会科学入門	選択	1		◎		
	社会参画入門	必修	1	◎	○	○	
	社会参画実習	必修	1	○	△	◎	○
	人間力概論	必修	1	○	○	○	○
	産学一致の勧め	必修	2	△	△	○	◎
	英語1	必修	1	◎	○	○	○
	英語2	選択	1	○	○	○	○
	英語3	選択	2	○	○	○	△
	第二外国語(韓国語)	選択	2	○	◎	△	△
	第二外国語(中国語)	選択	2	△	◎	△	△
	コミュニケーション演習	選択	1	◎	△	○	△
	文章表現	選択	1	○	○	○	○
	データサイエンス入門	必修	1		○		◎
	データサイエンス・AI基礎	選択	2		○		◎
	データ分析と社会課題解決	選択	2		○	○	◎
	大分学・大分県	必修	1	○	○	○	△
	健康の科学	選択	1	○	○	△	○
	スポーツサイエンス	選択	1	◎	◎		○
人文科学への誘い	選択	2		◎		○	
ジェネリックスキル養成1	選択	1	○		◎	○	
ジェネリックスキル養成2	選択	1	△	△	○	◎	
専門教育科目	コース共通	解剖学	必修	1	○	◎	
		生理学	必修	1	○	◎	
		生化学	必修	1	○	◎	
		病理学1	必修	1	○	◎	
		病理学2	選択	2	○	◎	
		微生物学	選択	1	○	◎	
		分子生物学	選択	2	○	◎	
		免疫学	選択	2	○	◎	
		医学概論	必修	1	○	◎	
		薬理学	必修	1	○	◎	
	公衆衛生学	必修	2	○	◎		△
	デジタル医療の基礎	必修	1		◎		◎
	チーム医療概論	必修	3	◎	◎	◎	△
	保健医療福祉論	選択	3	○	◎		△
	医療安全論	必修	3	○	◎		○
	医療統計学1	選択	3		◎		◎
	医療統計学2	選択	3		◎		◎
	チーム協働と課題解決	必修	3	○	◎	◎	◎
	保健医療と経営	必修	4		◎	◎	◎
	保健医療と工学	必修	4		◎	◎	◎
卒業研究	必修	4	◎	◎	◎	◎	
診療放射線学	臨床画像解剖学	選択	2		◎		
	基礎医学大要	選択	4		◎		
	放射線基礎科学	選択	1	○	◎		
	放射線基礎工学	選択	1		◎		○
	医用工学	選択	1		◎		○
	放射線物理学	選択	2		◎		
	放射化学	選択	2		◎		
	放射線生物学・疫学	選択	2		◎		
	放射線計測学	選択	2		◎		
	理工学実験	選択	2	◎	◎		
医療倫理学	選択	3	◎	◎	○		
放射線撮影学1	選択	1		◎			

保健医療学部保健医療学科カリキュラム・マップ				DPとの関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目区分	科目名	必修・選択	配当年次	DP			
				① [関心・意欲・態度] 生命に対する尊厳と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。	② [知識・理解] 医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職種において、医療技術の知識と技能を活用することができる。	③ [技能・表現・コミュニケーション] 他者を思いやり、相手の立場に立った共感力を身に付け、チームの中で協調して行動し、チーム医療実践のための問題解決力、多職種とのコミュニケーション力やプレゼンテーション能力を身に付けている。	④ [思考・判断・創造] 複合的な視点から課題を解決できる力と医療の高度化、情報化に対応できる力を身に付けている。
診療放射線学	放射線撮影学2	選択	2		◎		
	臨床画像学	選択	3		◎		
	診療画像機器学1	選択	2		◎		○
	診療画像機器学2	選択	2		◎		○
	診療画像機器学実験	選択	4		◎		
	診療画像検査学1	選択	2		◎		
	診療画像検査学2	選択	3		◎		
	診療画像技術学実習1	選択	2	○	◎	◎	
	診療画像技術学実習2	選択	3	○	◎	◎	
	放射線医薬品学	選択	2		◎		
	核医学検査技術学1	選択	2		◎		
	核医学検査技術学2	選択	3		◎		
	放射線腫瘍学	選択	2		◎		
	放射線治療技術学1	選択	2		◎		
	放射線治療技術学2	選択	3		◎		
	放射線治療機器学	選択	2		◎		△
	医療画像工学	選択	2		◎		
	医療画像情報学1	選択	2		◎		○
	医療画像情報学2	選択	3		◎		○
	放射線関係法規	選択	2	○	◎		△
	放射線安全管理学	選択	3		◎		△
	医療安全管理学	選択	4		◎	○	△
	実践臨床画像論	選択	3		◎	◎	
	放射線医科学演習	選択	4		◎		◎
	放射線治療技術演習	選択	4		◎		◎
	核医学検査技術演習	選択	4		◎		◎
臨床実習 (診療参加型)	選択	3		◎	◎	◎	
専門教育科目	栄養学	選択	2	○	◎		
	公衆衛生学演習	選択	3	○	◎	◎	
	関係法規 (臨床検査)	選択	4	○	◎		△
	医療工学概論	選択	2		◎		△
	検査機器総論	選択	2		◎		○
	情報科学概論	選択	3		◎		○
	臨床病態学1	選択	2		◎		
	臨床病態学2	選択	2		◎		
	臨床検査医学	選択	2		◎		
	臨床検査学演習	選択	2		◎	◎	
	血液検査学	選択	2		◎		
	血液検査学実習	選択	2	○	◎	◎	
	病理組織検査学	選択	2		◎		
	細胞診検査学	選択	2		◎		
	病理組織細胞検査学実習	選択	3	○	◎	◎	
	一般検査学演習	選択	2		◎	◎	
	寄生虫検査学実習	選択	3	○	◎	◎	
	生体分析検査化学	選択	2		◎		
	生体分析検査化学実習	選択	2	○	◎	◎	
	免疫検査学	選択	2		◎		
	免疫検査学実習	選択	3	○	◎	◎	○
	遺伝子・染色体検査学	選択	2		◎		
	遺伝子・染色体検査学実習	選択	3	○	◎	◎	○
	輸血・移植検査学	選択	2		◎		△
	輸血・移植検査学実習	選択	3	○	◎	◎	○
	微生物検査学1	選択	2		◎		
微生物検査学2	選択	2		◎			
微生物検査学実習	選択	3	○	◎	◎	○	
臨床生理検査学1	選択	1		◎			
臨床生理検査学2	選択	1		◎			
臨床生理検査学実習	選択	2	○	◎	◎		
画像検査学	選択	2		◎			
画像検査学実習	選択	3	○	◎	◎		
画像・AI解析検査学	選択	4		◎		◎	

保健医療学部保健医療学科カリキュラム・マップ				DPとの関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目区分	科目名	必修・選択	配当年次	DP			
				①[関心・意欲・態度] 生命に対する尊敬と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。	②[知識・理解] 医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職種において、医療技術の知識と技能を活用することができる。	③[技能・表現・コミュニケーション] 他者を思いやり、相手の立場に立った共感力を身に付け、チームの中で協調して行動し、チーム医療実践のための問題解決力、多職種とのコミュニケーション力やプレゼンテーション能力を身に付けている。	④[思考・判断・創造] 複合的な視点から課題を解決できる力と医療の高度化、情報化に対応できる力を身に付けている。
臨床検査学	臨床検査総合演習	選択	3		◎	◎	◎
	検査総合管理学	選択	4		◎		◎
	医療安全管理学実習	選択	4	○	◎	◎	△
	臨床検査論1	選択	4		◎		○
	臨床検査論2	選択	4		◎		○
	臨床検査論3	選択	4		◎		○
	臨地実習前総合実習	選択	3	◎	◎	◎	◎
	臨地実習	選択	3	◎	◎	◎	◎
	基礎医学実習	選択	2	○	○	◎	△
	関係法規(医工学)	選択	4	○	◎		△
専門教育科目 臨床医工学	応用数学	選択	2		◎		
	医用電気工学総論	選択	2		◎		
	医用電気工学各論	選択	3		◎		
	医用電気工学実習	選択	3		◎	◎	
	医用電子工学総論	選択	2		◎		
	医用電子工学各論	選択	3		◎		
	医用電子工学実習	選択	3		◎	◎	
	医用機械工学	選択	3		◎		
	医用計測工学	選択	3		◎		
	医療情報処理工学	選択	2		◎		○
	医用システム工学	選択	3		◎		○
	システム・情報処理実習	選択	3		◎	○	○
	データサイエンス概論	選択	3		◎		○
	医用工学概論	選択	2		◎		
	生体物性工学	選択	2		◎		
	医用材料工学	選択	3		◎		
	生体計測工学	選択	3		◎		
	医用機器学概論	選択	2		◎		△
	医用機器学実習	選択	2	○	○	◎	△
	医用治療機器学	選択	2		◎		
	生体計測装置学	選択	2		◎		
	臨床支援技術学	選択	2		◎		
	臨床支援技術学実習	選択	2	◎	○	◎	
	循環制御治療学	選択	3		◎		△
	人工呼吸療法学	選択	3		◎		△
	血液浄化療法学	選択	3		◎		△
	循環制御治療学実習	選択	3	○	○	◎	△
	人工呼吸療法学実習	選択	3	○	○	◎	△
	血液浄化療法学実習	選択	3	○	○	◎	△
	医療機器安全管理学	選択	2		◎		△
	医用治療機器学実習	選択	2	○	○	◎	△
	生体計測装置学実習	選択	2	○	○	◎	△
	医療システムマネジメント論	選択	3		◎		○
	生命科学概論	選択	2	◎	○	△	
臨床医学英語	選択	3		◎	○		
救急・麻酔・集中治療医学	選択	3		◎			
臨床医学総論 (内科系)	選択	3		◎			
臨床医学総論 (外科系)	選択	3		◎			
人工臓器学	選択	4	△	◎		○	
医工学治療論	選択	4		◎	△	○	
レギュラトリサイエンス論	選択	4		◎		○	
臨床実習	選択	4	◎	◎	◎	◎	

(改善事項) 保健医療学部 保健医療学科

3. 例えば、臨床医工学コースの基礎専門科目に「応用数学」が配置されているなど、それぞれのコースで科目を履修するに当たり、数学の基礎的学力必要な場合があると考えられ、また、養成する人材像に照らしても数学の能力は必要であると考えられるが、入学者選抜において、必ずしも数学の学力試験を課していない。一方、「生物リテラシー」では高校で未履修の学生にも理解できるように配慮していると見受けられるため、これと同様に、数学の能力が不十分な学生を支援するためのリメディアル教育科目を配置するなどの対応をとることが望ましい。

(対応)

審査意見のとおり、本学部において数学の基礎的学力は必須である。入学者選抜試験の受験形態が多様であるため、統一的な数学の基礎学力を把握し、必要な学生に対しては適切なリメディアル教育が必要となる。一方で、高校の学習内容を主体とするリメディアル教育は大学の教育課程としてふさわしくない。そのため、入学時に統一的な数学の基礎学力テスト（プレースメントテスト）を全入学生に対し実施し、基礎学力が不足すると判定された学生には、教育課程外でのリメディアル教育（「基礎学力講座・数学」の教育プログラム）の受講を義務づける。

また、学校推薦型選抜、総合型選抜による入学予定者の多くは、一般選抜の入学予定者よりも早く入学が決まるため、モチベーションの低下の防止や基礎学力の向上を目的に「入学前教育」を実施する。そのため、入学手続きが完了した入学予定者を対象に e-learning による「数学 I」の範囲を中心とした数学の課題を課す。入学前年の 12 月以降 3 月まで、入学手続きが完了者した者から随時行い、2 週間程度を区切りとして、進捗状況を確認しながらフォローアップを行うこととしている。

以上について、「4. 教育課程の編成の考え方及び特色」に「(4) リメディアル教育・入学前教育」を加筆する。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (28～29 ページ)

新	旧
<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色 <u>(4) リメディアル教育・入学前教育</u> 本学部の教育を受ける上で前提となる数学の基礎学力について、各学生の入学時の学力を把握し、適切な支援を行うことも大学生活を成功に導く上で重要であるが、入学者選抜試験の受験形態が多様であるため、統一的な数学の基礎学力を把握することが難しい。そこで、入学時に数学プレース</p>	<p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p>

メントテストを実施することとしている。
これらの結果に基づいて数学の基礎学力が
不足する学生に対し、教育課程外のリメデ
ィアル教育プログラムとして、「基礎学力講
座・数学」を1年次前期に開講する。リメ
ディアル教育プログラムは週2コマ8週間
の構成とし、早期に基礎学力を底上げす
ることとしている。さらに不十分な学生に
対しては、前期後半に再度の受講を義務づ
ける。

また、早期に入学手続きが完了する「学校
推薦型選抜」や「総合型選抜」による入学予
定学生を対象に入学前教育を教育推進セン
ターが主管となって実施することとしてい
る。入学前教育は早期に入学が決定したこ
とによる学習に対するモチベーションの低
下の防止や基礎学力の向上を目的に、高校
での学習内容の復習問題を提供する。具体
的には、e-learningによる「数学I」の範
囲を中心とした数学の課題を課し、入学前
年の12月以降3月まで、入学手続きが完了
者した者から随時行い、2週間程度を区切り
として、進捗状況を確認しながらフォロー
アップを行うこととしている。

(是正事項) 保健医療学部 保健医療学科

4. アドミッション・ポリシーにおいて、「特に数学、理科、国語、英語のいずれか、あるいは複数の教科・科目において、高い学習意欲をもち、基礎的知識を応用する力を有する人」としているものの、対象となる教科の範囲が広く、かつ、いずれの教科にも限定されていないように見受けられることから、本学科において必要となる基礎学力を有する学生を適切に選抜できるものとなっているかが判断できない。このため、養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、適切なアドミッション・ポリシーが設定され、当該アドミッション・ポリシーに基づき適切な入学者選抜が実施される計画であることを改めて具体的に説明すること。

(対応)

保健医療学部保健医療学科アドミッション・ポリシー【知識・技能】①では、様々な分野における学習意欲と知識を受験生に求め、「特に数学、理科、国語、英語のいずれか、あるいは複数の教科・科目において、高い学習意欲をもち、基礎的知識を応用する力を有する人」としていた。しかし、高等学校までの学習範囲・到達度を幅広く設定したことにより、受験生に求める能力が理解しづらいものになっていたため、大学での学修に必要な基礎事項を理解していることと、専門能力を育成するうえで、特に必要になると考える「数学」または「国語」における学習意欲と基礎学力を求める内容へと修正する。

さらに審査意見を踏まえ、「学校推薦型選抜」「総合型選抜」「一般選抜」「社会人入試」の各入試区分において、受験生に求める能力について、養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーと関連づけて具体的に明示し、修正後のアドミッション・ポリシーに基づいた適切な入学者選抜を実施することを改めて説明する。

以上について、「9. 入学者選抜の概要」の「(1) 入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)」及び「(2) 入学者選抜方法」に加筆を行う。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (38 ページ)

新	旧
<p>9. 入学者選抜の概要</p> <p>(1) 入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)</p> <p>本学部・学科で掲げる卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) を実現し、教育課程編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー) に定めた教育を受けるにふさわしい入学者を選抜するため、以下の入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー) を「<u>学力の3要素</u>」の観点から定め</p>	<p>9. 入学者選抜の概要</p> <p>(1) 入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)</p> <p>本学部・学科で掲げる卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) を実現し、教育課程編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー) に定めた教育を受けるにふさわしい入学者を選抜するため、以下の入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー) を定める。</p>

<p>る。また、<u>ディプロマ・ポリシーとの関連性</u>については、<u>アドミッション・ポリシーの「知識・技能」</u>については、<u>ディプロマ・ポリシー②</u>、「<u>思考力・判断力・表現力</u>」については、<u>ディプロマ・ポリシー①及び④</u>、「<u>主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度</u>」については<u>ディプロマ・ポリシー①及び③</u>と関連し、<u>入学者選抜においてディプロマ・ポリシーを実現できる資質を有するかどうかを判断する。</u></p> <p>1) <u>日本文理大学アドミッション・ポリシー (3学部共通)</u></p> <p>① <u>本学の建学の精神及び教育理念を理解し、主体的・意欲的に学ぼうとする人</u></p> <p>② <u>世の中の諸課題や変化に強い関心を持ち、社会・地域の発展に貢献しようとする人</u></p> <p>③ <u>社会の一員としての自覚と誇りを持ち、若者らしい発想と行動力でチャレンジできる人</u></p> <p>2) <u>保健医療学部保健医療学科アドミッション・ポリシー</u></p> <p>【知識・技能】</p> <p>① <u>高等学校までに履修した教科・科目について、大学での学修に必要な基礎事項を理解したうえで、特に数学または国語において、学習意欲と基礎学力を有する人</u></p> <p>② <u>高等学校での総合的な探究、課外活動、資格取得などの実践的・体験的学習から得られた知識・技術・能力を有する人</u></p> <p>③ <u>医療における診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士の仕事に興味を持ち、それに必要となる知識・技術の修得に意欲的な人</u></p>	<p>1) <u>日本文理大学アドミッション・ポリシー (3学部共通)</u></p> <p>① <u>本学の建学の精神及び教育理念を理解し、主体的・意欲的に学ぼうとする人</u></p> <p>② <u>世の中の諸課題や変化に強い関心を持ち、社会・地域の発展に貢献しようとする人</u></p> <p>③ <u>社会の一員としての自覚と誇りを持ち、若者らしい発想と行動力でチャレンジできる人</u></p> <p>2) <u>保健医療学部保健医療学科アドミッション・ポリシー</u></p> <p>【知識・技能】</p> <p>① <u>高等学校までに履修した教科・科目の基礎事項を理解したうえで、特に数学、理科、国語、英語のいずれか、あるいは複数の教科・科目において、高い学習意欲を持ち、基礎的知識を応用する力を有する人</u></p> <p>② <u>高等学校での総合的な探究、課外活動、資格取得などの実践的・体験的学習から得られた知識・技術・能力を有する人</u></p> <p>③ <u>医療における診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士の仕事に興味を持ち、それに必要となる知識・技術の修得に意欲的な人</u></p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>①自分の考えを他者に分かりやすく表現できる人</p> <p>②物事を多面的に考察し、保健医療を通じて社会・地域の発展、豊かな生活の創造に貢献する意欲を有する人</p> <p>③事実や意見などの情報を読み解き、論理的に思考・判断できる人</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p> <p>①医療人として豊かな人間性を培うために、社会・地域に対して旺盛な好奇心を持ち、幅広い視野で主体的に学び、社会的な要請に応えようと努力を続ける人</p> <p>②社会・地域の諸課題に対して、多様な人々と協働し、チームワークによって解決する方向を探ることができる人</p> <p>③協調・協働して物事を実行していくために必要なリーダーシップを有する人</p>	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>①自分の考えを他者に分かりやすく表現できる人</p> <p>②物事を多面的に考察し、保健医療を通じて社会・地域の発展、豊かな生活の創造に貢献する意欲を有する人</p> <p>③事実や意見などの情報を読み解き、論理的に思考・判断できる人</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p> <p>①医療人として豊かな人間性を培うために、社会・地域に対して旺盛な好奇心を持ち、幅広い視野で主体的に学び、社会的な要請に応えようと努力を続ける人</p> <p>②社会・地域の諸課題に対して、多様な人々と協働し、チームワークによって解決する方向を探ることができる人</p> <p>③協調・協働して物事を実行していくために必要なリーダーシップを有する人</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(新旧対照表) 設置等の趣旨を記載した書類 (39～43 ページ)

新	旧
<p>9. 入学者選抜の概要</p> <p>(2) 入学者選抜方法</p> <p>3) 入学者選抜方法</p> <p>入学者の選抜は、学校教育法第 90 条第 1 項及び学校教育法施行規則第 150 条で定められた大学入学資格を有する者に対して、各入学試験の定める選抜方法に従い、調査書の内容、推薦書、学力検査、面接その他の能力・適性等に関する検査の成績等により、<u>入学志願者の能力・適性・意欲・関心等を総合的に判定し、アドミッション・ポリシーで掲げる資質を有する入学者を選抜する。</u></p>	<p>9. 入学者選抜の概要</p> <p>(2) 入学者選抜方法</p> <p>3) 入学者選抜方法</p> <p>入学者の選抜は、学校教育法第 90 条第 1 項及び学校教育法施行規則第 150 条で定められた大学入学資格を有する者に対して、各入学試験の定める選抜方法に従い、調査書の内容、推薦書、学力検査、面接その他の能力・適性等に関する検査の成績等により、<u>入学志願者の能力・適性・意欲・関心等を総合的に判定する。</u></p>

<p>【学校推薦型選抜】 <u>学校推薦型選抜における選抜方法の考え方は以下の通りである。</u></p> <p><u>アドミッション・ポリシーの「【知識・技能】①高等学校までに履修した教科・科目について、大学での学修に必要な基礎事項を理解したうえで、特に数学または国語において、学習意欲と基礎学力を有する人」、</u>【思考力・判断力・表現力】③事実や意見などの情報を読み解き、論理的に思考・判断できる人<u>」を選抜するために、特に数理的な基礎学力や論理的な思考力を判断するための「数学」、文章読解力や論理的な思考力を判断するための「国語」のいずれかの選択制とする。</u></p> <p><u>面接試験では、アドミッション・ポリシーの「【思考力・判断力・表現力】①自分の考えを他者に分かりやすく表現できる人、②物事を多面的に考察し、保健医療を通じて社会・地域の発展、豊かな生活の創造に貢献する意欲を有する人」、</u>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】①医療人として豊かな人間性を培うために、社会・地域に対して旺盛な好奇心を持ち、幅広い視野で主体的に学び、社会的な要請に応えようと努力を続ける人<u>」を選抜することを目的としている。</u></p> <p>①指定校推薦入試／日本文理大学附属高校推薦入試</p> <p>本学独自の基礎学力テスト1科目(100点満点)及び面接試験(100点満点)の合計200点満点を課す。上記の結果に加え、「志望理由書」「学校長推薦書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>試験科目は、「数学(数学Ⅰ)」「国語(国語総合〈現代文〉)」からの1科目選択とす</p>	<p>【学校推薦型選抜】</p> <p>①指定校推薦入試／日本文理大学附属高校推薦入試</p> <p>本学独自の基礎学力テスト1科目(100点満点)及び面接試験(100点満点)の合計200点満点を課す。上記の結果に加え、「志望理由書」「学校長推薦書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>試験科目は、「数学(数学Ⅰ)」「国語(国語総合〈現代文〉)」からの1科目選択とす</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

る。

また、出願基準については、指定校推薦入試では本学で定める高等学校に在籍し評定平均値 3.3～3.5 以上の者と定める。附属高校推薦入試では附属高校に在籍し評定平均値が 3.3 以上の者と定める。

②公募推薦入試

本学独自の基礎学力テスト 1 科目(100 点満点)及び面接試験(100 点満点)の合計 200 点満点を課す。上記の結果に加え、「志望理由書」「学校長推薦書」「調査書」の記載内容を総合判定する。

試験科目は、「数学(数学Ⅰ)」「国語(国語総合〈現代文〉)」からの 1 科目選択とする。

また、出願基準については、「高等学校もしくは中等教育学校を令和 4(2022)年 3 月に卒業した者及び令和 5(2023)年 3 月に卒業見込の者」「通常の課程による 12 年の学校教育を令和 4(2022)年 3 月に修了した者及び令和 5(2023)年 3 月に修了見込みの者」とし、評定平均値 3.5 以上の者と定める。

【総合型選抜】

総合型選抜における選抜方法の考え方は以下の通りである。

アドミッション・ポリシーの「【知識・技能】①高等学校までに履修した教科・科目について、大学での学修に必要な基礎事項を理解したうえで、特に数学または国語において、学習意欲と基礎学力を有する人」、【思考力・判断力・表現力】③事実や意見などの情報を読み解き、論理的に思考・判断できる人」を選抜するために、「特待生選抜自己推薦型入試」では、特に数理的な基礎学力や論理的な思考力を判断

る。

また、出願基準については、指定校推薦入試では本学で定める高等学校に在籍し評定平均値 3.3～3.5 以上の者と定める。附属高校推薦入試では附属高校に在籍し評定平均値が 3.3 以上の者と定める。

②公募推薦入試

本学独自の基礎学力テスト 1 科目(100 点満点)及び面接試験(100 点満点)の合計 200 点満点を課す。上記の結果に加え、「志望理由書」「学校長推薦書」「調査書」の記載内容を総合判定する。

試験科目は、「数学(数学Ⅰ)」「国語(国語総合〈現代文〉)」からの 1 科目選択とする。

また、出願基準については、「高等学校もしくは中等教育学校を令和 4(2022)年 3 月に卒業した者及び令和 5(2023)年 3 月に卒業見込の者」「通常の課程による 12 年の学校教育を令和 4(2022)年 3 月に修了した者及び令和 5(2023)年 3 月に修了見込みの者」とし、評定平均値 3.5 以上の者と定める。

【総合型選抜】

<p>するための「数学」、文章読解力や論理的な思考力を判断するための「国語」のいずれかの選択制とする。</p> <p>また、「大学入学共通テスト型入試」では、大学入学共通テストにおける「数学」「国語」のいずれかの選択制とする。</p> <p>面接試験では、アドミッション・ポリシーの「【思考力・判断力・表現力】①自分の考えを他者に分かりやすく表現できる人、②物事を多面的に考察し、保健医療を通じて社会・地域の発展、豊かな生活の創造に貢献する意欲を有する人」、「【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】①医療人として豊かな人間性を培うために、社会・地域に対して旺盛な好奇心を持ち、幅広い視野で主体的に学び、社会的な要請に応えようと努力を続ける人」を選抜することを目的としている。</p> <p>①特待生選抜自己推薦型入試</p> <p>本学独自の基礎学力テスト1科目(100点満点)及び面接試験(100点満点)の合計200点満点を課す。上記の結果に加え、「自己推薦書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>試験科目は、「数学(数学Ⅰ)」「国語(国語総合〈現代文〉)」からの1科目選択とする。</p> <p>また、出願基準については、「高等学校もしくは中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業した者及び令和5(2023)年3月に卒業見込の者」「通常の課程による12年の学校教育を4(2022)年3月に修了した者及び令和5(2023)年3月に修了見込みの者」とし、評定平均値3.5以上の者と定める。</p> <p>②大学入学共通テスト型入試</p> <p>大学入学共通テスト1科目(100点満点)及び面接試験(100点満点)の合計200点満</p>	<p>①特待生選抜自己推薦型入試</p> <p>本学独自の基礎学力テスト1科目(100点満点)及び面接試験(100点満点)の合計200点満点を課す。上記の結果に加え、「自己推薦書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>試験科目は、「数学(数学Ⅰ)」「国語(国語総合〈現代文〉)」からの1科目選択とする。</p> <p>また、出願基準については、「高等学校もしくは中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業した者及び令和5(2023)年3月に卒業見込の者」「通常の課程による12年の学校教育を4(2022)年3月に修了した者及び令和5(2023)年3月に修了見込みの者」とし、評定平均値3.5以上の者と定める。</p> <p>②大学入学共通テスト型入試</p> <p>大学入学共通テスト1科目(100点満点)及び面接試験(100点満点)の合計200点満</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>点を課す。上記の結果に加え、「自己推薦書」「調査書」の記載内容を総合判定する。大学入学共通テストは、「数学」「国語」より高得点の1科目を利用する。</p> <p>また、出願基準については、大学入学資格を満たす者とする。評定平均値の出願基準は設けない。</p> <p>【一般選抜】</p> <p><u>一般選抜における選抜方法の考え方は以下の通りである。</u></p> <p><u>アドミッション・ポリシーの「【知識・技能】①高等学校までに履修した教科・科目について、大学での学修に必要な基礎事項を理解したうえで、特に数学または国語において、学習意欲と基礎学力を有する人」、</u> <u>「【思考力・判断力・表現力】③事実や意見などの情報を読み解き、論理的に思考・判断できる人」を選抜するために、</u> <u>「学力試験2科目型入試」「大学入学共通テスト併用型」の大学独自の学力試験においては、特に数理的な基礎学力や論理的な思考力を判断するための「数学」、文章読解力や論理的な思考力を判断するための</u> <u>「国語」を選択科目として設定する。それに加えて、総合的な学力を判断するために</u> <u>選択科目として、国際的なコミュニケーション力により研究分野等での新しい知見を得ることのできる基礎学力を判断するための「英語」も設定する。</u></p> <p><u>また、「大学入学共通テスト」については、各教科・科目における総合的な学力を判断するため、全教科・科目を選択の対象とし、入試区分によって2～5科目の合計点によって、学力を判断する。</u></p> <p><u>アドミッション・ポリシーの「【思考力・判断力・表現力】①自分の考えを他者</u></p>	<p>点を課す。上記の結果に加え、「自己推薦書」「調査書」の記載内容を総合判定する。大学入学共通テストは、「数学」「理科」「国語」「外国語」より高得点の1科目を利用する。</p> <p>また、出願基準については、大学入学資格を満たす者とする。評定平均値の出願基準は設けない。</p> <p>【一般選抜】</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>に分かりやすく表現できる人、②物事を多面的に考察し、保健医療を通じて社会・地域の発展、豊かな生活の創造に貢献する意欲を有する人」、「【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】①医療人として豊かな人間性を培うために、社会・地域に対して旺盛な好奇心を持ち、幅広い視野で主体的に学び、社会的な要請に応えようと努力を続ける人」を選抜するためには、出願時に提出する「志望理由書」を踏まえて評価する。</p> <p>以下の入試区分における出願基準については、大学入学資格を満たす者とする。評定平均値の出願基準は設けない。</p> <p>①学力試験 2 科目型入試</p> <p>本学独自の学力試験を 2 科目課す。各科目は 100 点満点とし、合計 200 点満点の学力試験の結果に加え、「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>試験科目は、「数学（数学Ⅰ・Ⅱ）」「国語（国語総合〈現代文〉）」「外国語（英語〈コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ／筆記〉）」のいずれかより 2 科目を選択。</p> <p>②大学入学共通テスト併用型入試</p> <p>本学独自の学力試験を 1 科目と、大学入学共通テスト 2 科目を課す。各科目は 100 点満点とし、合計 300 点満点の学力試験の結果に加え、「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>独自試験の試験科目は、「数学（数学Ⅰ・Ⅱ）」「国語（国語総合〈現代文〉）」「外国語（英語〈コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ／筆記〉）」のいずれかより 1 科目を選択。</p> <p>大学入学共通テストは、「数学」「理科」「国語」「地理歴史」「公民」「外国語」より高得点の 2 科目を利用。ただし、同一教科</p>	<p>以下の入試区分における出願基準については、大学入学資格を満たす者とする。評定平均値の出願基準は設けない。</p> <p>①学力試験 2 科目型入試</p> <p>本学独自の学力試験を 2 科目課す。各科目は 100 点満点とし、合計 200 点満点の学力試験の結果に加え、「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>試験科目は、「数学（数学Ⅰ・Ⅱ）」「国語（国語総合〈現代文〉）」「外国語（英語〈コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ／筆記〉）」のいずれかより 2 科目を選択。</p> <p>②大学入学共通テスト併用型入試</p> <p>本学独自の学力試験を 1 科目と、大学入学共通テスト 2 科目を課す。各科目は 100 点満点とし、合計 300 点満点の学力試験の結果に加え、「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>独自試験の試験科目は、「数学（数学Ⅰ・Ⅱ）」「国語（国語総合〈現代文〉）」「外国語（英語〈コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ／筆記〉）」のいずれかより 1 科目を選択。</p> <p>大学入学共通テストは、「数学」「理科」「国語」「地理歴史」「公民」「外国語」より高得点の 2 科目を利用。ただし、同一教科</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>からの複数科目の選択は不可とする。</p> <p>③大学入学共通テスト利用入試 3科目型 大学入学共通テストにおける高得点の3科目を課す。各科目は100点満点とし、合計300点満点の学力試験の結果に加え、「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。利用科目は「数学」「理科」「国語」「地理歴史」「公民」「外国語」から高得点3科目を利用。ただし、同一教科からの複数科目の選択は不可とする。</p> <p>④大学入学共通テスト利用入試 5科目型 大学入学共通テストにおける高得点の5科目を課す。各科目は100点満点とし、合計500点満点の学力試験の結果に加え、「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。利用科目は「数学」「理科」「国語」「地理歴史・公民」「外国語」の各教科の高得点1科目ずつを利用。</p> <p>【その他】</p> <p>① 社会人入試 <u>社会人入試における選抜方法の考え方は以下の通りである。</u> <u>学力試験は免除し、「小論文試験」および「面接試験」によって、学修意欲の高い社会人を選抜する。「小論文試験」では、アドミッション・ポリシーの「【知識・技能】①高等学校までに履修した教科・科目について、大学での学修に必要な基礎事項を理解したうえで、特に数学または国語において、学習意欲と基礎学力を有する人、③医療における診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士の仕事に興味を持ち、それに必要となる知識・技術の修得に意欲的な人、「【思考力・判断力・表現力】①自分の考えを他者に分かりやすく表現できる人、③事実や意見などの情報を読み解</u></p>	<p>からの複数科目の選択は不可とする。</p> <p>③大学入学共通テスト利用入試 3科目型 大学入学共通テストにおける高得点の3科目を課す。各科目は100点満点とし、合計300点満点の学力試験の結果に加え、「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。利用科目は「数学」「理科」「国語」「地理歴史」「公民」「外国語」から高得点3科目を利用。ただし、同一教科からの複数科目の選択は不可とする。</p> <p>④大学入学共通テスト利用入試 5科目型 大学入学共通テストにおける高得点の5科目を課す。各科目は100点満点とし、合計500点満点の学力試験の結果に加え、「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。利用科目は「数学」「理科」「国語」「地理歴史・公民」「外国語」の各教科の高得点1科目ずつを利用。</p> <p>【その他】</p> <p>① 社会人入試</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>き、論理的に思考・判断できる人」を選抜する。</p> <p>面接試験では、アドミッション・ポリシーの「【思考力・判断力・表現力】①自分の考えを他者に分かりやすく表現できる人、②物事を多面的に考察し、保健医療を通じて社会・地域の発展、豊かな生活の創造に貢献する意欲を有する人」、「【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】①医療人として豊かな人間性を培うために、社会・地域に対して旺盛な好奇心を持ち、幅広い視野で主体的に学び、社会的な要請に応えようと努力を続ける人」を選抜することを目的としている。</p> <p>以下、選抜方法の詳細となる。</p> <p>本学独自の小論文試験（100 点満点）及び面接試験（100 点満点）の合計 200 点満点を課す。上記の結果に加え、「経歴書」「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>小論文試験については、テーマ型小論文とする。</p> <p>なお、出願資格を有する社会人とは、保健医療分野に限らず、平成 30（2018）年以降で通算 2 年以上の社会経験（定職就業経験）のある者を指す。</p>	<p>本学独自の小論文試験（100 点満点）及び面接試験（100 点満点）の合計 200 点満点を課す。上記の結果に加え、「経歴書」「志望理由書」「調査書」の記載内容を総合判定する。</p> <p>小論文試験については、テーマ型小論文とする。</p> <p>なお、出願資格を有する社会人とは、保健医療分野に限らず、平成 30（2018）年以降で通算 2 年以上の社会経験（定職就業経験）のある者を指す。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(改善事項) 保健医療学部 保健医療学科

5. 専任教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性の観点から、若手教員の採用計画など教員組織の将来構想を明確にすること。

(対応)

令和 8 (2026) 年度 (完成年度) 末に 12 名の専任教員が定年退職する予定であることから、教員組織の将来構想などを踏まえて、学年進行中も含めて令和 9 (2027) 年 4 月 1 日までに、若手教員を中心とした採用計画の策定と実行を行う。また、内部昇任に向けた教育能力の向上や研究業績蓄積の支援、閉校予定である日本文理大学医療専門学校教員の大学教員登用に向けた支援などを行い、教育研究の継続性を担保できる教員組織を編制していく計画である。

完成年度で定年を迎える教員が担当する分野については、教員の年齢と職位を考慮した上で開設 1 年目から公募を開始する。退職教員の補充に当たっては、教授、准教授の職位構成や年齢構成を適切に保つことに留意しつつ、教育研究目的を達成するために、開設当初の授業科目の開講を継続し、教育水準を維持できる採用計画を構築する。

開設年度と完成年度の年齢構成 (表 1) で示すように、完成年度における 50～54 歳代の 8 名のうち 7 名は、開設年度 (令和 5 (2023) 年度) において准教授または講師の職位である。これらの教員の内部昇任を図りつつ、完成年度以降は不足する 55～64 歳代の教授または准教授を公募で採用する。また、完成年度における 40 歳代の教員は 3 名となるため、30～40 歳代の採用も行うことによって、年齢構成のバランスを図る。

以上について、「10. 教員組織の編制の考え方及び特色」の「(3) 教員の年齢構成について」に加筆を行う。

表 1 開設年度と完成年度の年齢構成

	30～39 歳	40～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上	合計
開設年度 (R5)	2	6	5	1	7	6	0	27
完成年度 (R8)	0	3	8	2	2	7	5	27

※ 1 開設年度以降就任する教員については開設年度の数に含める。

※ 2 完成年度 65 歳以上は定年退職となる。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (46～47 ページ)

新	旧
<p>10. 教員組織の編制の考え方及び特色 (3) 教員の年齢構成について</p> <p>本学部の専任教員の年齢構成（完成年度末）は、70歳以上5名、60歳代9名、50歳代10名、40歳代3名となる。本学の定年は64歳であるが、開設時の令和5（2023）年4月1日時点において定年年齢を超える教員及び完成年度（令和8（2026）年度）までに定年を迎える教員については、特例規程を適用し完成年度まで雇用することとしている。よって、完成年度まで教員組織の維持に特段の問題はない。</p> <p><u>令和8（2026）年度（完成年度）末に65～70歳代の専任教員12名が、定年退職する予定である。定年退職となる教員の後任は、公募による採用、内部昇任、日本文理大学医療専門学校教員から大学教員への登用を行う予定である。</u></p> <p><u>年齢構成としては、内部昇任の対象予定の教員は40～50歳代であり、医療専門学校から登用する教員も同様に40～50歳代である。完成年度以降は不足する55～64歳代の教授または准教授を公募で採用する。また、完成年度における40歳代の教員は3名となるため、30～40歳代の採用も行うこと</u> <u>によって、年齢構成のバランスを図り、将来的に若返りを図りながら教育研究の水準と体制を維持していく。</u></p> <p>完成年度に定年年齢を超えている教員12名は、主として教授職にある。完成年度以降の計画としては、年齢構成や専門領域の職位構成のバランスに配慮して、教育研究の質が維持・継続できるように、学年進行に応じて教授は准教授からの昇任また助教から講師への昇任を行うほか、学外からの</p>	<p>10. 教員組織の編制の考え方及び特色 (3) 教員の年齢構成について</p> <p>本学部の専任教員の年齢構成（完成年度末）は、70歳以上5名、60歳代9名、50歳代10名、40歳代3名となる。本学の定年は64歳であるが、開設時の令和5（2023）年4月1日時点において定年年齢を超える教員及び完成年度（令和8（2026）年度）までに定年を迎える教員については、特例規程を適用し完成年度まで雇用することとしている。よって、完成年度まで教員組織の維持に特段の問題はない。</p> <p>完成年度に定年年齢を超えている教員は、主として教授職にある。完成年度以降の計画としては、年齢構成や専門領域の職位構成のバランスに配慮して、教育研究の質が維持・継続できるように学年進行に応じて准教授及び講師からの昇任を行うほか、学外からの新規採用を計画的に実施す</p>

<p>新規採用を計画的に実施する予定である。 <u>新規採用教員については、開設1年目から公募を行う予定である。</u></p> <p>また、内部昇任については、本学部の開設段階からそれぞれの職位に応じて、大学で規定（日本文理大学教員資格審査基準）された、教育研究業績、教育能力、研究指導能力などの具体的な基準を踏まえて、論文の投稿や研究等についての支援を行う。<u>また、研究活動のみならず、教育活動を評価に反映し、若手教員のキャリア支援を行い、教育研究活動の充実を図っていく。</u></p> <p><u>具体的な支援内容として、研究業績向上に対する支援では、既設学部ですでに実施している、研究を進める上で必要な外部資金獲得のための助言やセミナーの開催、学内公募による研究資金の提供を、新学部においても活用していく。また、教育能力向上の支援に関しては、本学のFD活動で実施している、授業方法の展開や、授業内容改善検討会などに参加することによって、教育能力の向上につなげていく。</u></p> <p>また、日本文理大学医療専門学校は令和6（2024）年度で閉校予定であり、在籍する教員は学位等の取得の状況を踏まえて教員として順次採用していく計画としていることから、医療専門学校の教員の学位取得を支援するため、大学院進学の際の学費の支援を行っている。</p> <p><u>また、学位取得に向けて学術論文執筆のための指導体制、また論文投稿の支援やさらに、大学教員としての資質を身に付けるための研修会や学部講義の聴講などの支援体制を整えるほか、研究面においても本学部専任教員との共同研究の促進や研究業績の発表の場として、大学紀要への論文投稿を可能にするなどの支援体制を整えてい</u></p>	<p>る予定である。新規採用教員については、<u>完成年度の2年前から学部の中で検討を行い、1年前から公募を行う予定である。</u></p> <p>また、内部昇任については、本学部の開設段階からそれぞれの職位に応じて、大学で規定（日本文理大学教員資格審査基準）された、教育研究業績、教育能力、研究指導能力などの具体的な基準を踏まえて、論文の投稿や研究等についての支援を行う。</p> <p>また、日本文理大学医療専門学校は令和6（2024）年度で閉校予定であり、在籍する教員は学位等の取得の状況を踏まえて教員として順次採用していく計画としていることから、医療専門学校の教員の学位取得を支援するため、大学院進学の際の学費の支援を行っている。</p> <p>さらに、大学教員としての資質を身に付けるための研修会や学部講義の聴講などの支援体制を整えるほか、研究面においても本学部専任教員との共同研究の促進や研究業績の発表の場として、大学紀要への論文投稿を可能にするなどの支援体制を整えていく。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>く。</p> <p><u>大学教員転籍後の支援については、前述した内部昇任の場合と同様な研究業績の向上に向けた支援とともに、大学教員として相応しい教育能力の向上に向けたFD研修の受講などを通して、教育力の向上を図っていく。</u></p> <p>【資料 21 学校法人文理学園教員就業規則】 【資料 22 日本文理大学定年を超える教育職員の採用に関する特例規程】</p>	<p>【資料 21 学校法人文理学園教員就業規則】 【資料 22 日本文理大学定年を超える教育職員の採用に関する特例規程】</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

(是正事項) 保健医療学部 保健医療学科

6. 校地校舎等の図面について、学長室、医務室及び学生自習室が確認できる校舎の平面図が示されていないため、資料を提出すること。

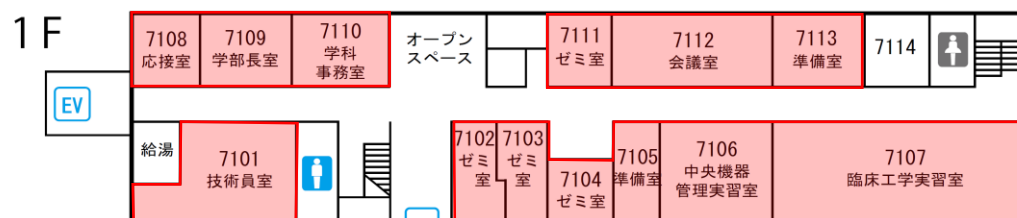
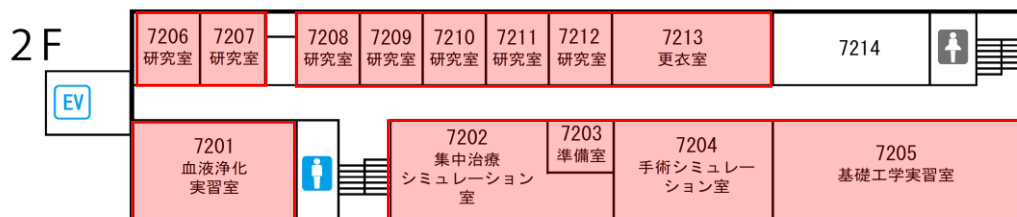
(対応)

校地校舎等の図面について、学長室(13号館3階)および保健室(医務室)(19号館1階)の平面図を新たに提出する。学生自習室については、既に提出している25号館4階の「フリーワークショップ1・2」および7号館3階「7306」が該当するため、「学生自習室」の文言を追記する。また、25号館1階に該当する施設があるため、「学生自習室」と記載して平面図の差替えを行う。

保健医療学部専用室	
1階	7101技術員室 61㎡
	7102ゼミ室 22㎡
	7103ゼミ室 21㎡
	7104ゼミ室 19㎡
	7105中央機器管理準備室 17㎡
	7106中央機器管理実習室 52㎡
	7107臨床工学実習室 112㎡
	7108応接室 19㎡
	7109学部長室 29㎡
	7110学科事務室 30㎡
	7111ゼミ室 19㎡
	7112会議室 49㎡
	7113臨床工学準備室 29㎡
2階	7201血液浄化実習室 72㎡
	7202集中治療シミュレーション室 83㎡
	7203手術S準備室 14㎡
	7204手術シミュレーション室 69㎡
	7205基礎工学実習室 112㎡
	7206研究室 19㎡
	7207研究室 19㎡
	7208研究室 19㎡
	7209研究室 19㎡
	7210研究室 19㎡
	7211研究室 19㎡
	7212研究室 19㎡
	7213更衣室 49㎡
3階	7301講義室 72㎡
	7302講義室 68㎡
	7303ゼミ室 29㎡
	7304ゼミ室 35㎡
	7305ゼミ室 34㎡
	7306学生自習室 112㎡
	7307研究室 19㎡
	7308研究室 19㎡
	7309研究室 19㎡
	7310研究室 19㎡
	7311研究室 19㎡
	7312研究室 19㎡
	7313研究室 19㎡
	7314研究室 19㎡
	7315研究室 19㎡
4階	7401講義室 72㎡
	7402講義室 68㎡
	7403ゼミ室 29㎡
	7404ゼミ室 35㎡
	7405ゼミ室 34㎡
	7406ゼミ室 33㎡
	7407教員室 79㎡
	7408研究室 19㎡
	7409研究室 19㎡
	7410研究室 19㎡
	7411研究室 19㎡
	7412研究室 19㎡
	7413研究室 19㎡
	7414研究室 19㎡
	7415研究室 19㎡
	7416研究室 19㎡
	7417研究室 19㎡
	7418研究室 19㎡

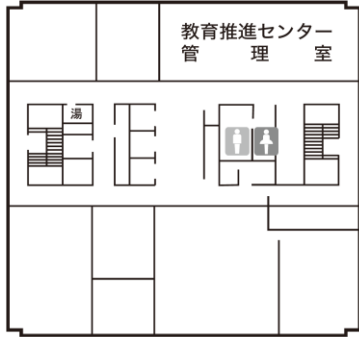
他の学部との共用室
※該当なし

対象外室

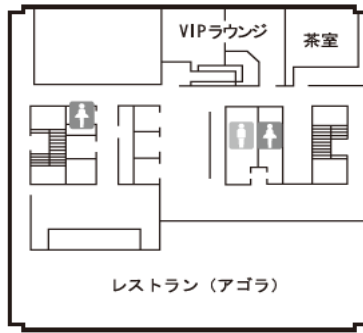


7号館

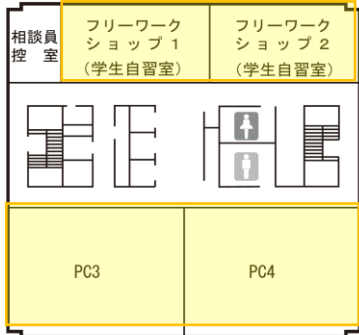
5F



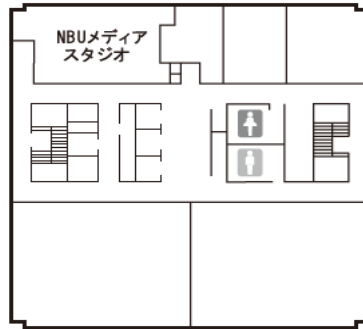
9F



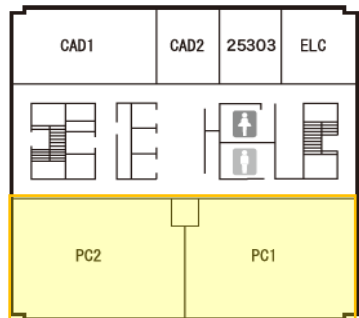
4F



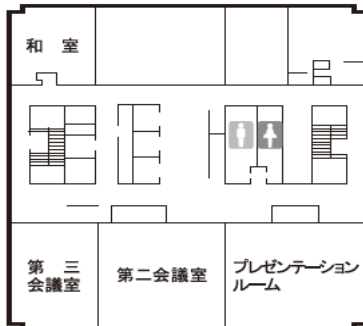
8F



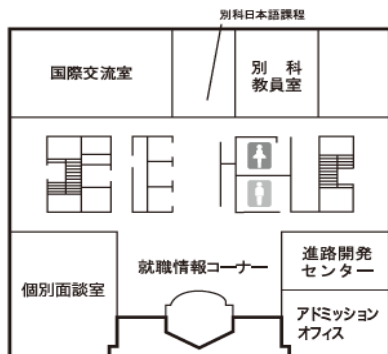
3F



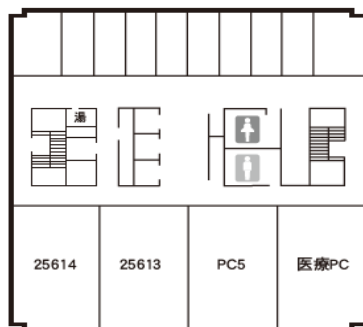
7F



2F



6F



1F



保健医療学部専用室
※該当なし

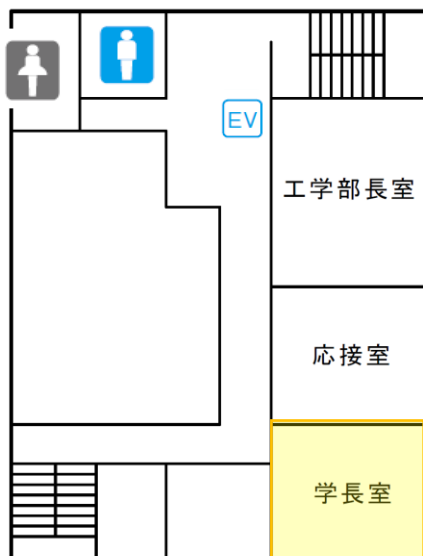
他の学部との共用室

1階 学生自習室 (東)	119㎡
学生自習室 (西)	129㎡
3階 PC1教室	254㎡
PC2教室	254㎡
4階 PC3教室	257㎡
PC4教室	257㎡
フリーワーク ショップ 1 (学生自習室)	143㎡
フリーワーク ショップ 2 (学生自習室)	134㎡

25号館

対象外室

3F



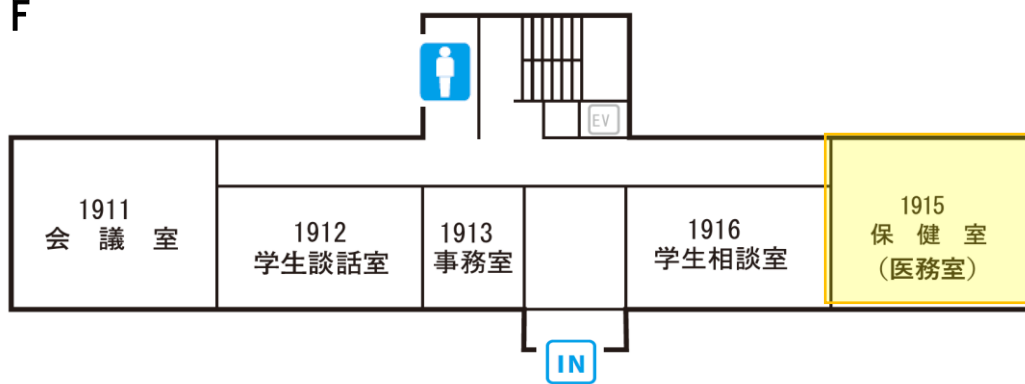
他の学部との共用室

3階 学長室 36㎡

対象外室

13号館

1F

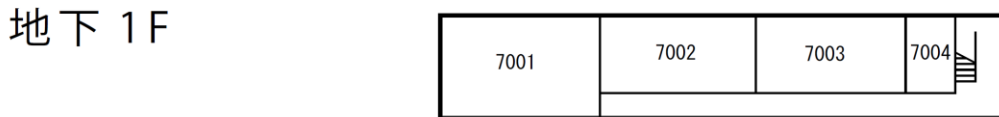
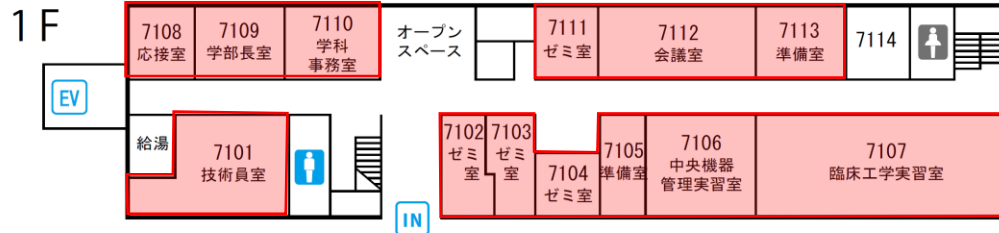


他の学部との共用室

1階 1915保健室 (医務室) 56㎡

対象外室

19号館



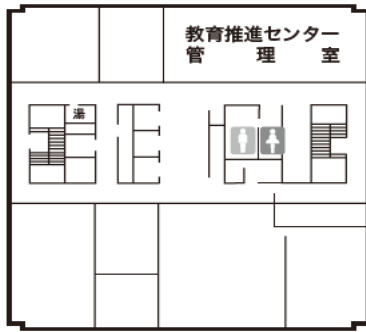
7号館

保健医療学部専用室		
1階	7101技術員室	61㎡
	7102ゼミ室	22㎡
	7103ゼミ室	21㎡
	7104ゼミ室	19㎡
	7105中央機器管理準備室	17㎡
	7106中央機器管理実習室	52㎡
	7107臨床工学実習室	112㎡
	7108応接室	19㎡
	7109学部長室	29㎡
	7110学科事務室	30㎡
	7111ゼミ室	19㎡
	7112会議室	49㎡
	7113臨床工学準備室	29㎡
2階	7201血液浄化実習室	72㎡
	7202集中治療シミュレーション室	83㎡
	7203手術S準備室	14㎡
	7204手術シミュレーション室	69㎡
	7205基礎工学実習室	112㎡
	7206研究室	19㎡
	7207研究室	19㎡
	7208研究室	19㎡
	7209研究室	19㎡
	7210研究室	19㎡
	7211研究室	19㎡
	7212研究室	19㎡
	7213更衣室	49㎡
3階	7301講義室	72㎡
	7302講義室	68㎡
	7303ゼミ室	29㎡
	7304ゼミ室	35㎡
	7305ゼミ室	34㎡
	7307研究室	19㎡
	7308研究室	19㎡
	7309研究室	19㎡
	7310研究室	19㎡
	7311研究室	19㎡
	7312研究室	19㎡
	7313研究室	19㎡
	7314研究室	19㎡
	7315研究室	19㎡
4階	7401講義室	72㎡
	7402講義室	68㎡
	7403ゼミ室	29㎡
	7404ゼミ室	35㎡
	7405ゼミ室	34㎡
	7406ゼミ室	33㎡
	7407教員室	79㎡
	7408研究室	19㎡
	7409研究室	19㎡
	7410研究室	19㎡
	7411研究室	19㎡
	7412研究室	19㎡
	7413研究室	19㎡
	7414研究室	19㎡
	7415研究室	19㎡
	7416研究室	19㎡
	7417研究室	19㎡
	7418研究室	19㎡

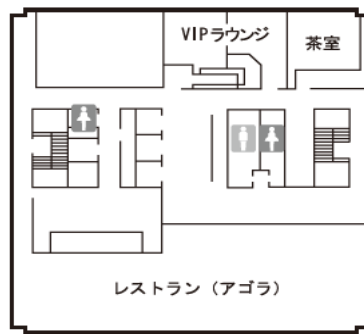
他の学部との共用室 ※該当なし

対象外室

5F



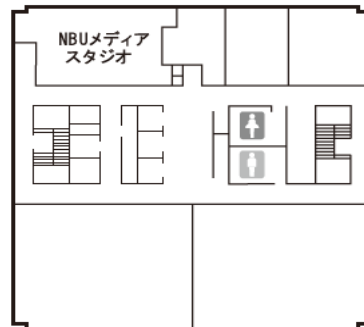
9F



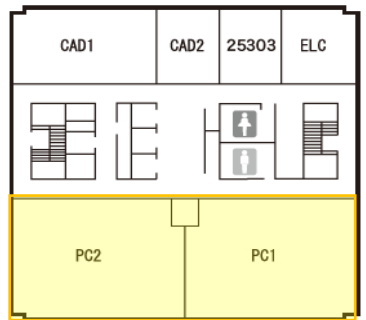
4F



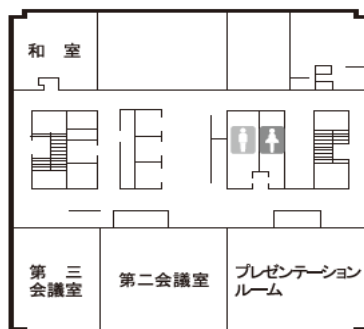
8F



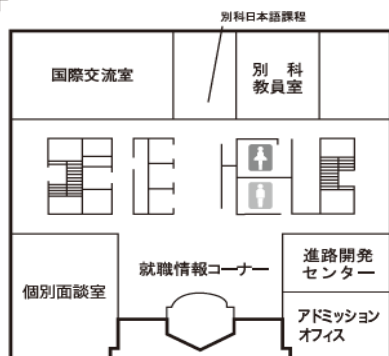
3F



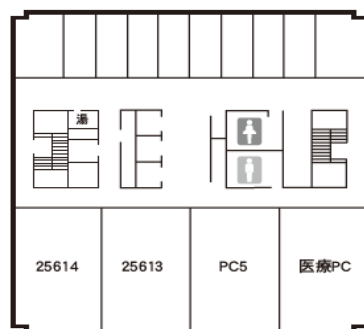
7F



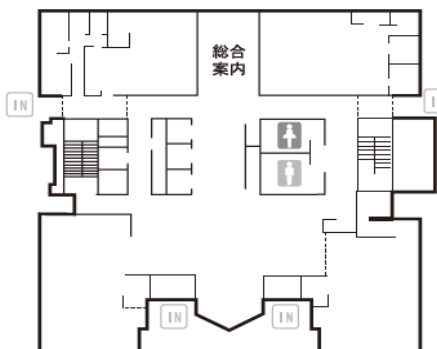
2F



6F



1F



■ 保健医療学部専用室
※該当なし

■ 他の学部との共用室

3階 PC1教室 254㎡
PC2教室 254㎡
4階 PC3教室 257㎡
PC4教室 257㎡

対象外室

25号館